再刻

政事要略記

全

小倉文庫
イ 16
78

下河辺拾水書畫

再刻改算廢去刻記

門 イ16
號 71
卷

昭和二十六年
六月二十一日
受入

「改算塵劫記」と称するものには異本が多い。この書物は正統的な塵劫記の系統に属するもので、「改算記」の系統とは遠い種類の、「改算塵劫記」の一例に属する。

昭和十四年四月　小倉金之助

村田栄清の「改算塵劫記」（算法明粹記）は、本書と全く別のものである。

目録

第一 大数乃名の事
第二 小数の名れ事
第三 銀の数乃名れ事
第四 四乃数の名れ事
第五 法相種重の事
第六 九々のうどれ事
第七 八義実あり 圖掛算の事
第八 見一割参分 圖掛算の事
第九 掛て割るさんの事
第十 茶賣買の事
第十一 俵まりの事
第十二 俵さんの事
第十三 義ふ俵入れ事
第十四 銀賣買乃事
第十五 銀あゞの事
第十六 金あゞの事
第十七 小判あゞの事
第十八 利足の事

第十九 絹木綿賣買の事
第廿 長崎買銀三人で銀ふ割分事
第廿一 けん地法りるの事
第廿二 外の法乃事
第廿三 材木賣買海りの事
第廿四 竹米まりれ事
第廿五 ひこうきいれのび乃事
第廿六 箔賣買まりの事
第廿七 切ものふちんるもれ事
第廿八 橋の入間銀割分乃事
第廿九 入みざんの事
第三十 糸のうんちんの事
第三十一 紙紙おりれ事
第三十二 米外用入法りるの事
第三十三 ひるゞ海りの事
第三十四 屋根の上板法りる事
第三十五 廣風箔垂法りれ事
第三十六 川書法りの事
第三十七 海ゞまそ乃事
第三十八 立本のもゝ法りる事

第四十九 町法りの事
第四十一 同じく一ぢの事
同 日本國中の男女の数の事
第四十三 ○こさんの事
第四十五 きね盗人とゝ分事
第四十七 金銀の数と國ゑのつもる事
第四十九 やゝさんとゝの事
第五十一 里人ゑそ山のゑそ三郎ゑそ殺の事
第五十三 百万貫の人数をかゝへてゐる事
第五十五 閑平免法乃圖の事
第四十 孫どもさんの事
第四十二 日本國中男女の数の事
同 大佛の堂へ茅入たりの事
第四十四 布一反のそばさの糸をつもりの事
第四十六 池をつくるつもり事
第四十八 百人けんとゝの事
第五十 産業ふ事業いろ〳〵入る事
第五十二 三人にて稼ぎてゞりをする事
第五十四 閑平法の曽れ事
第五十六 閑立法の曽れ事

○大数之名乃事

一 十 百 千 万 億 十億 百億 千億 兆 十兆 百兆 千兆 京 十京 百京 千京 垓 十垓 百垓 千垓 秭 十秭 百秭 千秭 穣 十穣 百穣 千穣 溝 十溝 百溝 千溝 澗 十澗 百澗 千澗 正 十正 百正 千正 載 十載 百載 千載 極 十極 百極 千極 恒河沙 十恒河沙 百恒河沙 千恒河沙 阿僧祇 十阿僧祇 百阿僧祇 千阿僧祇 那由他 十那由他 百那由他 千那由他 不可思議 十不可思議 百不可思議 千不可思議 無量 十無量 百無量 千無量 大數 十大数 百大数 千大数

○小数之名乃事

分 厘 毫 絲 忽 微 纖 沙 塵 埃 渺 漠 模糊 逡巡 須臾 瞬息 弾指 刹那 六徳 虛空 清淨 阿頼耶 阿摩羅 涅槃寂滅 斗 升 合 勺 抄 撮 圭 粟 粒 粟 糠 糠の数之名の事

○国ゝとゝ名の事

一町　但六十ろに方也　一ろとゝふ六尺なり

一反　ひゝ一ハ三百六十坪　今ハ三百坪ゝ也

一畝　二十歩ゝ一ハ歩　ゝ三十歩なり

一歩　一坪ゝ一ハ歩　六尺ゝ方也

一分　長さ六尺ゝ　廣さ六寸ゝ方也

一厘　長さ六寸ゝ　廣さ六寸ゝ方也

一毫　長さ六寸ゝ分　廣さ六寸ゝ分

一絲　長さ六分ゝ　廣さ六分ゝ

一忽　長さ六分ゝ　廣さ六厘ゝ毛

一微　長さ六厘ゝ　廣さ六厘ゝ毛

一竹　三百六十目　百六十目

一丈　一尺ゝ　一本　一束　一疋　一粒　一盃　一駄　一艘

一　壹丁　不勾　六い

二　貳示　不小

三　參王　不直

四　肆悪　不非

五　伍吾　不口

六　陸交　不入

七　漆皂　不白

八　捌分　不力

九　玖丸　不点

十　拾針　不金

一把　絹二端　馬　舟

○諸物輕重乃事

金　一寸に方　百七拾ゝ　銀　百四拾目　鉛　九拾ゝ

錫　六拾ゝ　玉　百弐拾目　銅　七拾ゝ　鐵　六拾目

真鍮　六拾九ゝ　青石　一ゝ　土　一尺四方　拾ゝ貫目

○九くの数之事

二二ノ四	二二ノ六	二四ノ八	二五十	二六十二	二七十四	二八十六	二九十八
三三ノ九	三四十二	三五十五	三六十八	三七二一	三八二四	三九二七
四四十六	四五二〇	四六二四	四七二八	四八三二	四九三六
五五二五	五六三〇	五七三五	五八四〇	五九四五
六六三六	六七四二	六八四八	六九五四
七七四九	七八五六	七九六三
八八六四	八九七二
九九八一	

○八さんのうろこあれ事

二のうろ　二一天他又　逢二進一十
三二三十一　三二六十二　逢二進一十
ほ一二十二　ほ二天他又　ほ三七十二　逢ほ進一十
五のうろ　又一倍他二　又二倍他ほ　又三倍他六
又ほ倍他八　逢又進一十　六のうろ　六一加下ほ
六二三十二　六三天他又　六ほ六十ほ　六又八十二
逢六進一十　七のうろ　七一加下三　七二加下六
七三ほ十二　七ほ又十又　七又七十一　七六八十ほ
逢七進一十　八のうろ　八一加下二　八二加下ほ
八三加下六　八ほ天他又　八又六十二　八六七十ほ
八七八十六　逢八進一十　九のうろ　九一加下一
九二加下二　九三加下三　ほ又ほ十ほ　逢九進一十

二割圖

五	四	九	三	八	二	七	一	六
合	分	厘	石	十	百	千	万	十

二一天他五　逢二進一十

わるい事　拾二万三千ほ百五十六石七斗八升九合を
二つをくれ　六万千七百廿八石三斗ほ九升ほ合又白つゝ也

けさん

白	合	分	厘	石	十	百	千	万	十

八進四十○二一天他五
八進四十
六進三十○二一天他五
二進一十○二進一十
二進一十○二進一十○二進一十
二進一十○二進一十○二天他又
二進一十○二一天他又
二進一十
二一天他五つ　二つをもらふ　十をもらふ　一をもらふ　とおの一をもらふ　ほうのうろ

白	合	分	厘	石	十	百	千	万

二又十	二ほ八
二九十八	二三六
二八十六	二二ほ
二七十ほ	一二二
二六十二	

但一二十ほ　ろくろくこれ　ろくろくほう　かなり

三一 三十一
三二 六十二
逢 二進一十

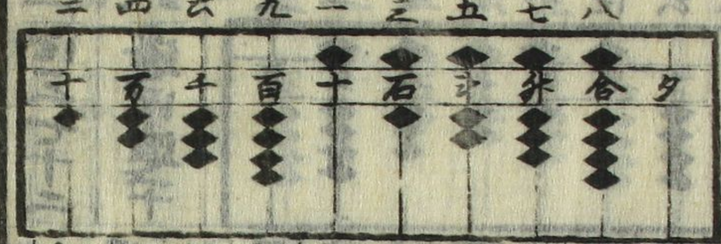
わるひいき
十二万二千四百五十六石七斗八升九合を
三つくうれい
四万千百五十二石二斗六升三合つなり

三割圖

九進二十
九進三十
六進二十
六進二十
六進二十
三進二十
三進二十
三進一十
三一 九一
三一 九一
三一 九一

五一倍双二
五二倍双四
五三倍双六
五四倍双八
逢五進一十

五割圖



五進一十〇五四倍他八
五進一十〇五三倍他六
五進一十〇五二倍他四
五進一十〇五一倍他二
五進一十
五四倍他八
五三倍他六
五二倍他四
五一倍他二

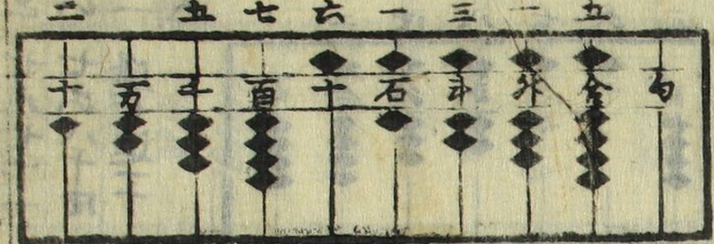
わりのいん
拾二万三千四百八拾六石七斗八升九合を
五つふくれい
弐万四千六百九拾二石三斗八升七合八勺ゝ

ひけさん

八八 四十
七八 四八
六八 九八
五八 十八
四八 八
九八 四十八
六八 三十
四八 二十
二八 十

六一加下四
六二三十二
六三六他八
六四六十四
逢六進一十

六割圖



六進一十〇六三六他八
六進一十〇六二六他六
六進一十〇六一加下四
六進一十
六進一十〇六三六他八
六四六十四
六三六他八
六進一十

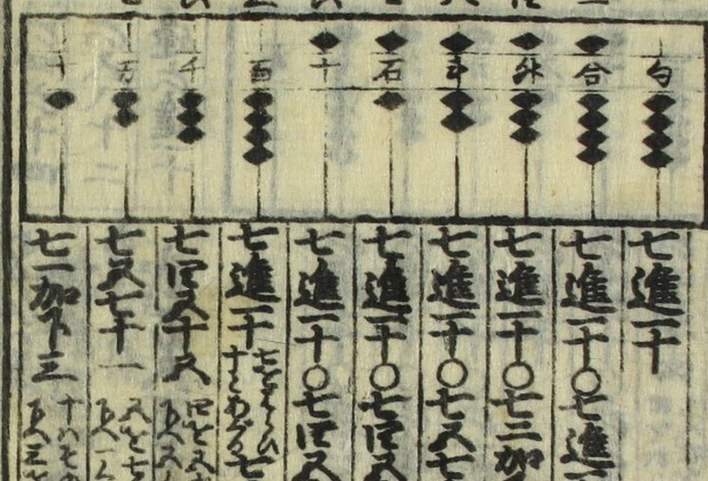
わりのいん
拾弐万三千四百八拾六石七斗八升九合を
六つふくれい
弐万八百七拾六石壱斗三升壱合八勺ゝ

けさん

五六 三十
一六 六
三六 十八
一六 六
六六 三十六
六七 四十二
五六 三十
二六 十二

七一加ト三　七八七十一
七二加ト六　七六八十四
七三ニ十二　逢七進一十
七四ニ十八

七割圖



七進一十
七進一十〇七進一十〇七二加ト三
七進一十〇七三加ト六
七進一十〇七八七十一
七進一十〇七四ニ八七十八
七進一十〇七五ニ十八
七進一十〇七六四十二
七進一十〇七七二十一
七四ニ八七十八
七五ニ十八
七六四十二
七七二十一
七二加ト三
七三加ト六
七八七十一

八一加ト二　八五六十二
八二加ト四　八六七十四
八三加ト六　八七八十六
八四ニ八七八　逢八進一十

八割圖

八四ニ八七八
八二加ト四
八進一十〇八五六十二
八進一十〇八六七十四
八七八十六
八進一十
八進一十〇八一加ト二
八進一十
八二加ト六
八四ニ八七八
八五ニ十八
八六四十二
八七二十一
八八七十六
八九七十二
八二十六
八三ニ十八
八四二十四
八五二十二
八六二十
八七一十八
八八一十六
八九一十四
八一加ト二
八二加ト四
八三加ト六
八四ニ八七八
八五ニ十八
八六四十二
八七二十一
八八七十六
八九七十二

九一加ト一　九四加ト四　九七加ト七
九二加ト二　九五加ト五　九八加ト八
九三加ト三　九六加ト六　逢九進二十

拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合を
九万九千七百拾七石八斗二升を合つる

九割圖

一	二	四	七	一	七	三
合	升	石	十	百	千	万

九進二十
九進二十
九進二十○九一加ト一
九進二十　九二加ト二
九六加ト六
九進二十
九六加ト六
九三加ト三
九一加ト一

合	升	石	十	百	千	万

九一加ト一
九進二十
九進二十
九六加ト六
九三加ト三
九一加ト一

のけさん

一九九
二九十八
四九三六
七九六十三
一九九
七九六十三
三九二十七
一九九

○同八さんのこと　量に花のまそろそんゆるゐ附とうゝ也一

二ふ割ること　二一天他又　二進一十　三ふ割ること　三一　三十一　三二　六十二
三進一十　四ふ割ること　四一　四二天他又　四二　七十二　四進一十
五ふ割ること　五一　加一　五二　加二　五五　加三　五進一十
六ふ割ること　六一加ト四　六二　三十二　六三天他又　六四　六十四　六五　八十二
六進一十　七ふ割ること　七一加ト三　七二加ト六　七五　四十二　七四　五十五
七五　七十一　七六　八十四　七進一十　八ふ割ること　八一加ト二　八二加ト四
八三加ト六　八四天他又　八五　六十二　八六　七十二　八七　八十六　八進一十
九ふ割ること　九一加ト一　九二加ト二　九三加ト三　九四加ト四　九五加ト五
九六加ト六　九七加ト七　九八加ト八　九進一十

○見一乃ようこと　分けさんの事

見一、金以他九一　量六十一ようの千九のうへのてふこる附こ弟ゝ也又百の
加一倍一　一進一十　うへのこゝも千乃ようへのまにこるもおゝ〳〵事かり
見二、金以他九二　量六九一ようの九九のまにこる附ふ弟ゝかりこ又武百の
加一倍二　八進二十　うへのこ二万のこうへのまふこるもはおゝかり

見二三　亟以他九三
他一倍三　八分長三庶入
見二　亟以他九二
他一倍二　八分長二庶入
見八　亟以他九八
他一倍八　八分長八庶入
見六　亟以他九六
他一倍六　八分長六庶入
見七　亟以他九七
他一倍七　八分長七庶入
見八　亟以他九八
他一倍八　八分長八庶入
見九　亟以他九九
他一倍九　八分長九庶入

見一三百　亟以他九三百
見一二百　亟以他九二百
見一百　亟以他九一百
見一十　亟以他九一十
見一　亟以他九一

五　分　厘
百　十　千　百　十　分　厘

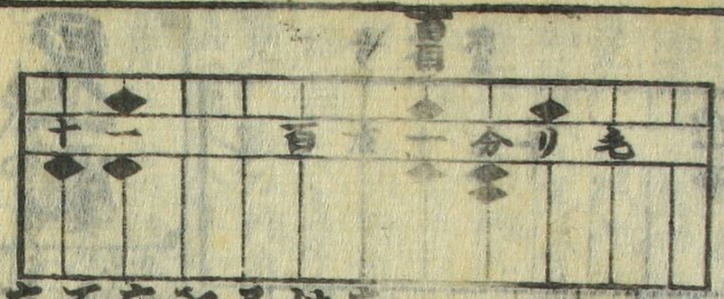
一進一十　一進一十　一進一十　一進一十　一進一十　一進一十　一進一十　一進一十　一進一十　又六九引
一進一十　一進一十　二六十二引
帰一倍一　他一倍一　六六九六引
見一亟以他九一
他一倍一　六六九六引
右のごとくひとつ〳〵千萬億兆京垓秭穣溝澗正載極恒沙阿僧祇那由他不可思議無量無辺大数皆悉如此

見一百　亟以他九一百
見一十　亟以他九一十
見一　亟以他九一
他一倍一　六六九六引
右のごとくひとつ〳〵千萬億兆京垓秭穣溝澗正載極恒沙阿僧祇那由他不可思議無量無辺大数皆悉如此

見一亟以他九一
他一倍一　六六九六引
右のごとくひとつ〳〵千萬億兆京垓秭穣溝澗正載極恒沙阿僧祇那由他不可思議無量無辺大数皆悉如此

見一掛算

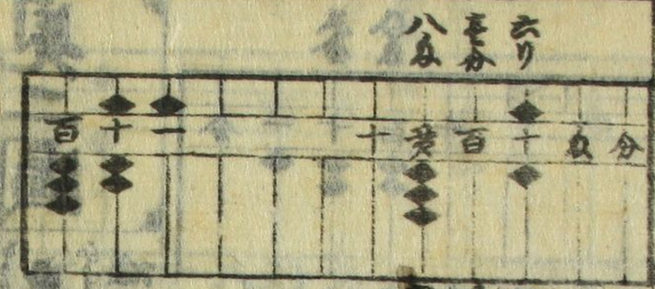
あるひい銀六匁弐分又壹つ
十六わくすると八百目ゆかるなり



又六 三十
一又 又
二六十二
一二 二
六六三十六
一六 六

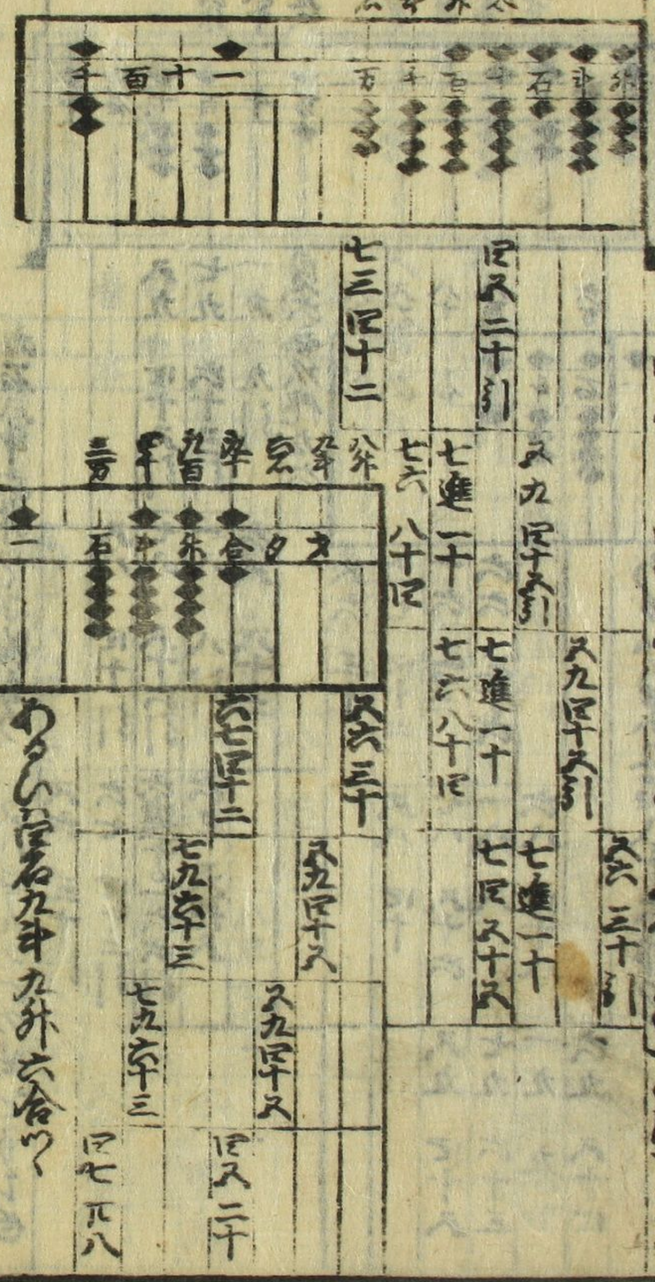
たの十六をたの六匁弐分ずつ掛ゝてけさげりてはこれ
けさげりてはこれ掛ゝてけさげりてはこれ掛ゝてけさ
げりてはこれ掛ゝてけさげりてはこれ掛ゝてけさげり
てはこれ掛ゝてけさげりてはこれ掛ゝてけさげりては
これ掛ゝてけさげりてはこれ掛ゝてけさげりてはこれ
掛ゝてけさげりてはこれ掛ゝてけさげりてはこれ掛ゝ
てけさげりてはこれ掛ゝてけさげりてはこれ掛ゝてけ
さげりてはこれ掛ゝてけさげりてはこれ掛ゝてけさげ
りてはこれ掛ゝてけさげりてはこれ掛ゝてけさげりて
はこれ掛ゝてけさげりてはこれ掛ゝてけさげりてはこ
れ掛ゝてけさげりてはこれ掛ゝてけさげりてはこれ掛
ゝてけさげりてはこれ掛ゝてけさげりてはこれ掛ゝて

見三圖

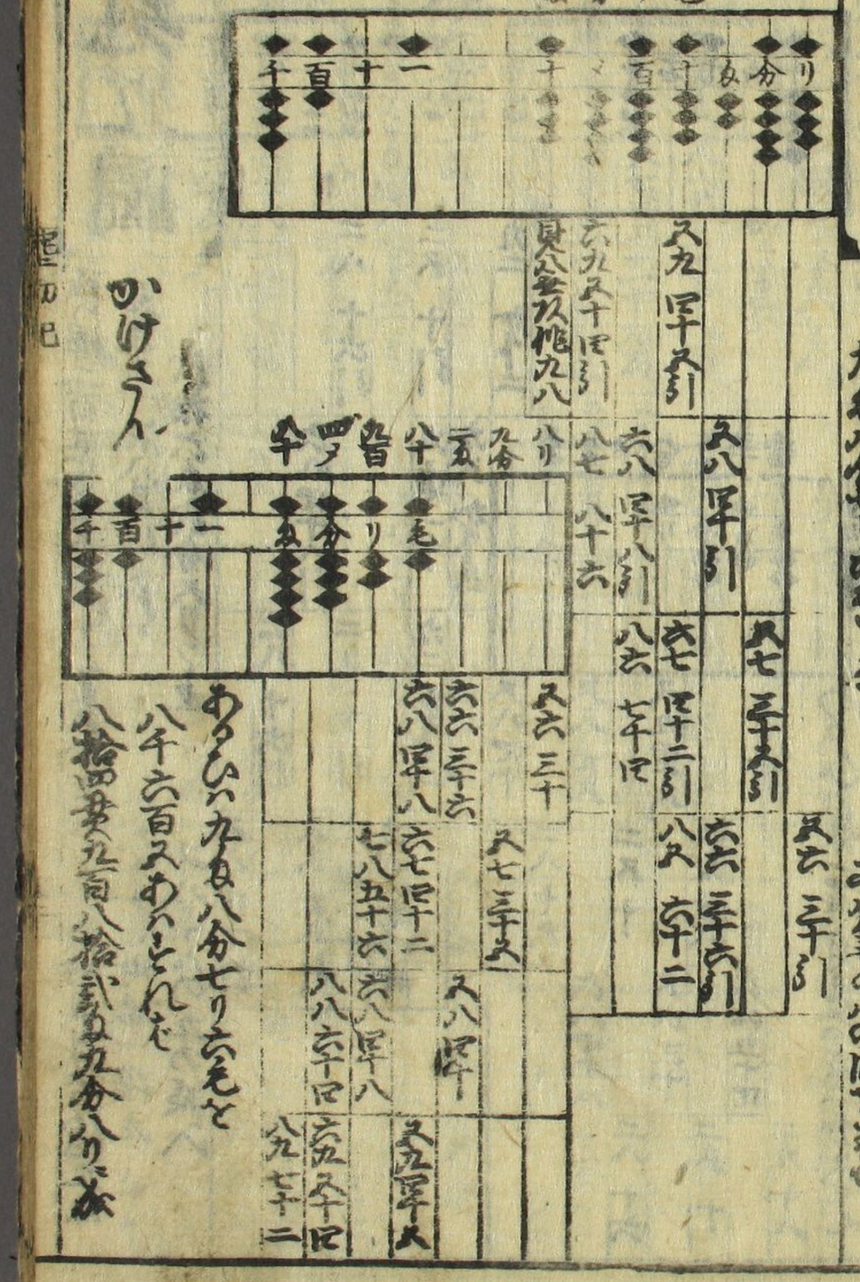


わるいの張三百六拾四を一でとれば残見三百九拾六
三百七十八ふくまれば
八九七十分六りて
引まれば 帰一倍三
又八集の三の張を四倍
又六 四十二引
又六 三十
一又 又
又八 四十
七八 五十六
三八 九十六
一三 三
一七 七
一三 十八
又六 三十
一又 又
又六 四十二
三六 十八
一六 七十二

見七圖



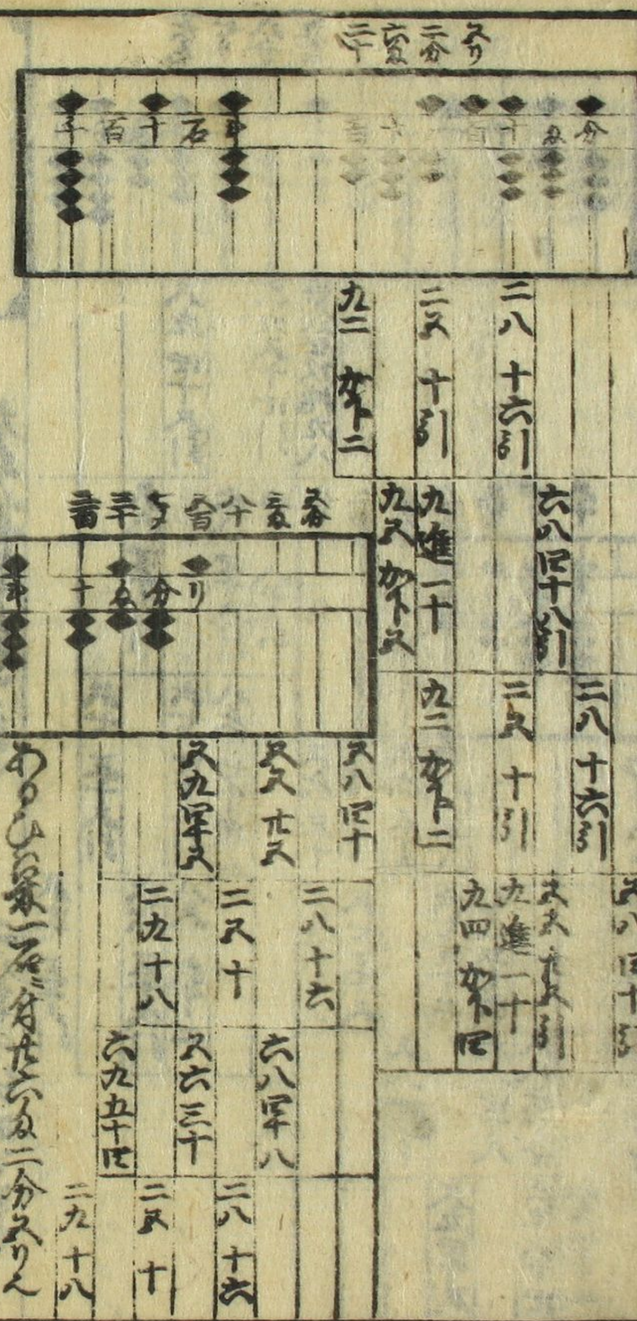
見八圖



見九圖

武の張二百四七要又百八十三石又分と
九ゆ又十石八斗にてんい
武拾六石武分又りつ也

ひきもの附数一倍九
又八さんの九の張八



かけさん

○かけてつもるさんの事

米又千六百七十八石を
二つふくる附ハ十分又ハ
ひくまた

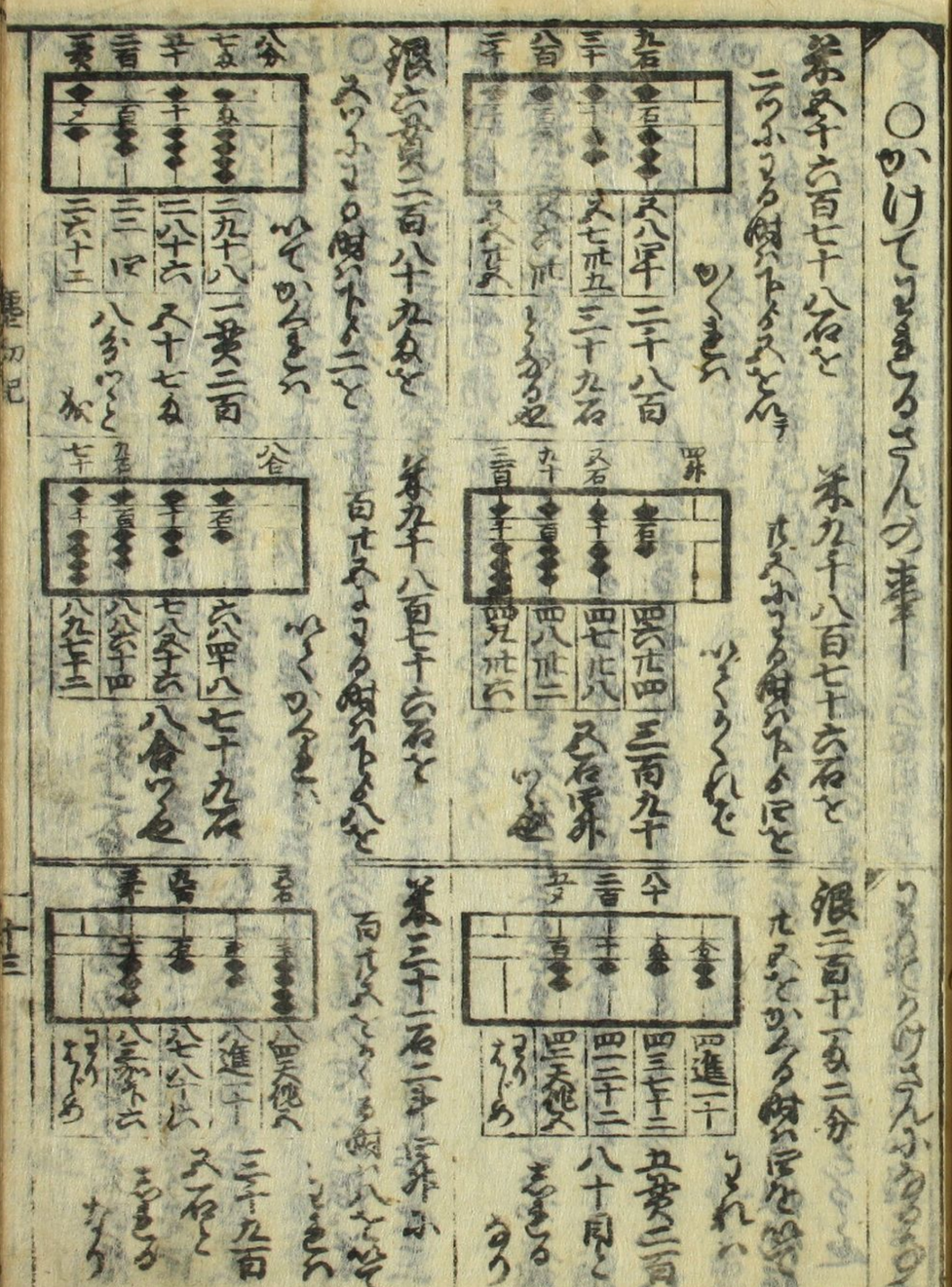
米九千八百七十六石を
九又ふくる附ハ百分に
ひくくらくれを

張六百二百八十九石を
又ひつふくる附ハ十分に
ひくそかんまた

米九千八百七十六石を
百十分又ふくる附ハ八分を
ひくくりつまた

張二百十五石二分
九又とかくる附ハ百分を
ひくれハ

米三千一百二十一石二斗
百十分又とかくる附ハ八分を
ひくまた



○米のうつりひの事

○米八百十石あり銀千匁に付米三斗二升のねうちにて右の米の銀
何匁ほどの銀拾八匁七百五拾目とのこと右の米八百十石を五斗二合
米三斗二升二合とそこで右の米を三斗二升二合にてうれば八百十八貫六百八拾目となる
れば米一石にねうちにて銀千匁に付銀何匁ほどの銀となるべし

○銀八百六拾七匁八分五厘にて米何程ほどの米にかへるべし
何程ほどかへるべし　米二拾三石八斗五升六合ほどかへる
斗五合を五石の値ふうにかへ　右の銀にて五石ほどかへる

○銀拾三貫八百八拾八匁五分にて米何程ほどの米にかへるべし
米何程ほどかへるべし　米五百七拾七石七斗八升ほどかへる　右銀十三貫八百八拾八匁五分にて
五百七十七石七斗八升ほどかへる　米ねうちの相場にてうれば米ねうちの通りにて
かへるべしと云心なり

○米二石八百七十八石有り代銀何程ほどにうれば
たれば　米二石八百七十八石ほどにうれば代銀千八百六拾三貫六百四拾匁ほどにうれば

○米二石八百七拾八石ほどにうれば代銀何程ほどにうれば
○米二石八百七拾八石ほどにうれば代銀千八百六拾三貫六百四拾匁ほどにうれば

十貫匁ほどにうれば米何程ほどにうれば　法ふう○のうるとたふとうて米をたくさん
売たの銀のうるふく米にかへるふう

○銀拾貫匁に米三斗九升六合二才ほどにうれば
米何程ほどにうれば　米三斗九升六合二才ほどにうれば

○米五石に付五匁六分ほどにうれば銀何程ほどにうれば
て右の米五石を売たの米にてうるまいたれば五匁六分ほどにうるべしなり

○米五石に付五匁六分にうれば銀何程ほどにうれば
○米五石に付五匁六分にうれば銀何程ほどにうれば　五匁六分にうるべしなり

○米五石に付五匁六分にうれば銀何程ほどにうれば

中米壱石七斗三升三合四夕　一石ニ付代銀百拾四匁弐分弐厘七毛

下米壱石七斗三升三合四夕　一石ニ付代銀百拾壱匁壱分八厘

籾米壱石七斗三升三合四夕　一石ニ付代銀百拾壱匁壱分八厘

大豆壱石七斗三升三合四夕　一石ニ付代銀三匁弐分九厘

銀弐拾合弐百拾六匁八分五厘　右之通代銀合百拾六匁五分

又銀二百拾六匁八分五厘　右之通代銀合百拾六匁五分

しの元八百九十匁のうちに八匁ずつ入る

○上米壱石に付九七匁三分　○下米一石に付九匁五分

○上米壱石ニ付代銀百拾六匁八分五厘　下米一石に付代銀百拾六匁八分五厘

中下の米ゆえ代銀上米より中米より中米より下米代銀上米

ゆえ代銀の内に上米より中米より下米代銀上米

上米壱石ニ付代銀百拾六匁八分五厘

中米弐石ニ付代銀百拾六匁八分五厘

下米弐石九合八夕　代銀百拾八匁七分二厘三毛

銀二百拾六匁八分五厘　右之通代銀合百拾六匁八分五厘

九十匁五分　右之通代銀合百拾六匁八分五厘

上米一石弐斗三升弐合四夕　代銀百拾六匁八分五厘

下米一石ニ付代銀百拾八匁七分二厘三毛

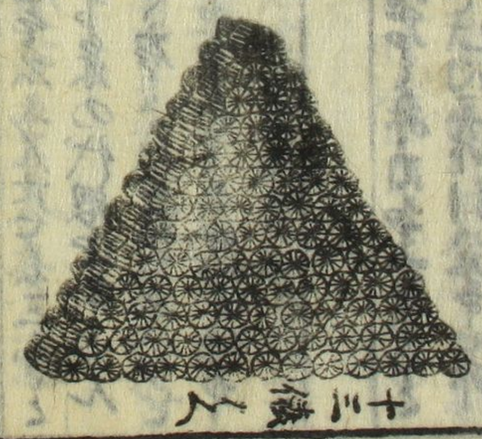
○米八百五十石ニ付三升ずつ　代銀百拾六匁八分五厘

三口の給と云三口合十九貫八百目也　米八分俵に六百俵に十三俵とうるれば
銀七貫八百目と云る米八分俵六百俵に十三俵とうるれば七貫八百目となる
米八分と垂米とてうれば十二俵と成
又百目と勘定三分　武分俵六百俵もふも十三俵とうるれば銀六貫
又たゞ米八分と垂三分　武分ゆくゆくれば十五俵ゆくゆくれば十五俵
とうれば銀又貫武百目と云也　銀三口合拾九貫八百目也

○俵とうるの事

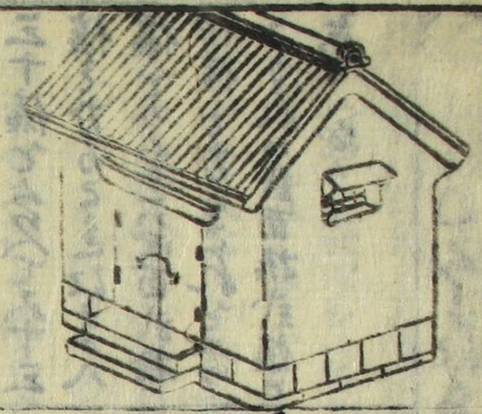
○俵数合九拾壱俵の内十三俵と垂又たゞ
十三俵とうるて十二俵と
成ゆくゆくれば百八十二俵ゆくゆくれば
ふるれば九十壱俵と云也

○俵数合百米十三俵の内　法よりゆくゆく十八
俵を左ふるときして左の十八俵ゆくゆくの八俵を
ゆくゆくの俵ゆくゆくを二つふるれば十三俵なる
かりゆくゆく十八俵ふる俵ゆくゆくゆる時は十九俵ゆくゆく八俵ゆくゆ



ゆくて十一俵ふるゆくゆくの左の十五俵とうるれば百米給三俵となる

○長屋の下に俵をすえおつるてあるの時
のゆくゆく俵をゆくゆくの八俵あり此数
そくとゆく　此数二百十二俵あり
法よりゆくゆく俵ふる一俵ゆくゆく
ゆくゆく八俵ひけば残り
此三俵あり是に左ゆく
三十俵とゆくゆくて又十三
俵とゆくゆくとなる八
俵をゆくゆくゆく



ひは義ふ俵ゐふかと入ぞとこと〻ふ時　二ゐ〻文百九十二
俵入とひつゆ　法ふるとこ二万ゐとこ二万ゐひんを一八四坪
にるゐ乞ふ米九万をかんをこハ荒六坪ふゐるゐ乞よ一
坪の法七十二をかんをこハ二千文百九十二俵と初分り
但一坪ふ六十二俵す入荒玄乞と荒六坪ふかんをてだ
二ゐ二百文十俵入迚者いつをもんてふようつゐ法くと
ゐうにもようゐ文ゐてふもようてちゐひようゐ乞ゐる
いうくれてくなり

○せふのうるとうひの事

○玄ゐ米文ニ分根十文ゐ人の附玄ゐ米ニ殘ゐふかぞとこふ　根玄ゐと
殘六拾ニ文ふわくるとゐ　右ふ九百六十文と玄十文ゐあくるなり

十五ゐ一ト	十五ゐ二ト	十五ゐ三ト	十五ゐ四ト
十五ゐ二ト	十五ゐ三ト	十五ゐ四ト	十五ゐ五ト
十五ゐ三ト	十五ゐ四ト	十五ゐ五ト	十五ゐ六ト
十五ゐ四ト	十五ゐ五ト	十五ゐ六ト	十五ゐ七ト
十五ゐ五ト	十五ゐ六ト	十五ゐ七ト	十五ゐ八ト
十五ゐ六ト	十五ゐ七ト	十五ゐ八ト	十五ゐ九ト
十五ゐ七ト	十五ゐ八ト	十五ゐ九ト	十六ゐ

一　黄　文　ゐ　分

六十三文六ト	六十四文七ト	六十五文八ト	六十六文九ト
六十四文一ト	六十五文二ト	六十六文三ト	六十七文四ト
六十五文二ト	六十六文三ト	六十七文四ト	六十八文五ト
六十六文三ト	六十七文四ト	六十八文五ト	六十九文六ト
六十七文四ト	六十八文五ト	六十九文六ト	七十文七ト
六十八文五ト	六十九文六ト	七十文七ト	七十一文八ト
六十九文六ト	七十文七ト	七十一文八ト	七十二文九ト
七十文七ト	七十一文八ト	七十二文九ト	七十三文十ト

一　黄　文　ゐ　分

十六ゐ一ト	十六ゐ二ト	十六ゐ三ト	十六ゐ四ト
十六ゐ二ト	十六ゐ三ト	十六ゐ四ト	十六ゐ五ト
十六ゐ三ト	十六ゐ四ト	十六ゐ五ト	十六ゐ六ト
十六ゐ四ト	十六ゐ五ト	十六ゐ六ト	十六ゐ七ト
十六ゐ五ト	十六ゐ六ト	十六ゐ七ト	十六ゐ八ト
十六ゐ六ト	十六ゐ七ト	十六ゐ八ト	十六ゐ九ト
十六ゐ七ト	十六ゐ八ト	十六ゐ九ト	十七ゐ

一　黄　文　ゐ　分

六十三文六ト	六十四文七ト	六十五文八ト	六十六文九ト
六十四文一ト	六十五文二ト	六十六文三ト	六十七文四ト
六十五文二ト	六十六文三ト	六十七文四ト	六十八文五ト
六十六文三ト	六十七文四ト	六十八文五ト	六十九文六ト
六十七文四ト	六十八文五ト	六十九文六ト	七十文七ト
六十八文五ト	六十九文六ト	七十文七ト	七十一文八ト
六十九文六ト	七十文七ト	七十一文八ト	七十二文九ト
七十文七ト	七十一文八ト	七十二文九ト	七十三文十ト

一　黄　文　ゐ　分

十七ゐ一ト	十七ゐ二ト	十七ゐ三ト	十七ゐ四ト
十七ゐ二ト	十七ゐ三ト	十七ゐ四ト	十七ゐ五ト
十七ゐ三ト	十七ゐ四ト	十七ゐ五ト	十七ゐ六ト
十七ゐ四ト	十七ゐ五ト	十七ゐ六ト	十七ゐ七ト
十七ゐ五ト	十七ゐ六ト	十七ゐ七ト	十七ゐ八ト
十七ゐ六ト	十七ゐ七ト	十七ゐ八ト	十七ゐ九ト
十七ゐ七ト	十七ゐ八ト	十七ゐ九ト	十八ゐ

一　黄　文　ゐ　分

六十三文六ト	六十四文七ト	六十五文八ト	六十六文九ト
六十四文一ト	六十五文二ト	六十六文三ト	六十七文四ト
六十五文二ト	六十六文三ト	六十七文四ト	六十八文五ト
六十六文三ト	六十七文四ト	六十八文五ト	六十九文六ト
六十七文四ト	六十八文五ト	六十九文六ト	七十文七ト
六十八文五ト	六十九文六ト	七十文七ト	七十一文八ト
六十九文六ト	七十文七ト	七十一文八ト	七十二文九ト
七十文七ト	七十一文八ト	七十二文九ト	七十三文十ト

一　黄　文　ゐ　分

十六ゐ一ト	十六ゐ二ト	十六ゐ三ト	十六ゐ四ト
十六ゐ二ト	十六ゐ三ト	十六ゐ四ト	十六ゐ五ト
十六ゐ三ト	十六ゐ四ト	十六ゐ五ト	十六ゐ六ト
十六ゐ四ト	十六ゐ五ト	十六ゐ六ト	十六ゐ七ト
十六ゐ五ト	十六ゐ六ト	十六ゐ七ト	十六ゐ八ト
十六ゐ六ト	十六ゐ七ト	十六ゐ八ト	十六ゐ九ト
十六ゐ七ト	十六ゐ八ト	十六ゐ九ト	十七ゐ

一　黄　文　ゐ　分

六十三文六ト	六十四文七ト	六十五文八ト	六十六文九ト
六十四文一ト	六十五文二ト	六十六文三ト	六十七文四ト
六十五文二ト	六十六文三ト	六十七文四ト	六十八文五ト
六十六文三ト	六十七文四ト	六十八文五ト	六十九文六ト
六十七文四ト	六十八文五ト	六十九文六ト	七十文七ト
六十八文五ト	六十九文六ト	七十文七ト	七十一文八ト
六十九文六ト	七十文七ト	七十一文八ト	七十二文九ト
七十文七ト	七十一文八ト	七十二文九ト	七十三文十ト

一　黄　文　ゐ　分

十七ゐ一ト	十七ゐ二ト	十七ゐ三ト	十七ゐ四ト
十七ゐ二ト	十七ゐ三ト	十七ゐ四ト	十七ゐ五ト
十七ゐ三ト	十七ゐ四ト	十七ゐ五ト	十七ゐ六ト
十七ゐ四ト	十七ゐ五ト	十七ゐ六ト	十七ゐ七ト
十七ゐ五ト	十七ゐ六ト	十七ゐ七ト	十七ゐ八ト
十七ゐ六ト	十七ゐ七ト	十七ゐ八ト	十七ゐ九ト
十七ゐ七ト	十七ゐ八ト	十七ゐ九ト	十八ゐ

一　黄　文　ゐ　分

十八ゐ一ト	十八ゐ二ト	十八ゐ三ト	十八ゐ四ト
十八ゐ二ト	十八ゐ三ト	十八ゐ四ト	十八ゐ五ト
十八ゐ三ト	十八ゐ四ト	十八ゐ五ト	十八ゐ六ト
十八ゐ四ト	十八ゐ五ト	十八ゐ六ト	十八ゐ七ト
十八ゐ五ト	十八ゐ六ト	十八ゐ七ト	十八ゐ八ト
十八ゐ六ト	十八ゐ七ト	十八ゐ八ト	十八ゐ九ト
十八ゐ七ト	十八ゐ八ト	十八ゐ九ト	十九ゐ

一　黄　文　ゐ　分

十九ゐ一ト	十九ゐ二ト	十九ゐ三ト	十九ゐ四ト
十九ゐ二ト	十九ゐ三ト	十九ゐ四ト	十九ゐ五ト
十九ゐ三ト	十九ゐ四ト	十九ゐ五ト	十九ゐ六ト
十九ゐ四ト	十九ゐ五ト	十九ゐ六ト	十九ゐ七ト
十九ゐ五ト	十九ゐ六ト	十九ゐ七ト	十九ゐ八ト
十九ゐ六ト	十九ゐ七ト	十九ゐ八ト	十九ゐ九ト
十九ゐ七ト	十九ゐ八ト	十九ゐ九ト	廿ゐ

一　黄　文　ゐ　分

六十三文六ト	六十四文七ト	六十五文八ト	六十六文九ト
六十四文一ト	六十五文二ト	六十六文三ト	六十七文四ト
六十五文二ト	六十六文三ト	六十七文四ト	六十八文五ト
六十六文三ト	六十七文四ト	六十八文五ト	六十九文六ト
六十七文四ト	六十八文五ト	六十九文六ト	七十文七ト
六十八文五ト	六十九文六ト	七十文七ト	七十一文八ト
六十九文六ト	七十文七ト	七十一文八ト	七十二文九ト
七十文七ト	七十一文八ト	七十二文九ト	七十三文十ト

一　黄　文　ゐ　分

十七ゐ一ト	十七ゐ二ト	十七ゐ三ト	十七ゐ四ト
十七ゐ二ト	十七ゐ三ト	十七ゐ四ト	十七ゐ五ト
十七ゐ三ト	十七ゐ四ト	十七ゐ五ト	十七ゐ六ト
十七ゐ四ト	十七ゐ五ト	十七ゐ六ト	十七ゐ七ト
十七ゐ五ト	十七ゐ六ト	十七ゐ七ト	十七ゐ八ト
十七ゐ六ト	十七ゐ七ト	十七ゐ八ト	十七ゐ九ト
十七ゐ七ト	十七ゐ八ト	十七ゐ九ト	十八ゐ

一　黄　文　ゐ　分

十八ゐ一ト	十八ゐ二ト	十八ゐ三ト	十八ゐ四ト
十八ゐ二ト	十八ゐ三ト	十八ゐ四ト	十八ゐ五ト
十八ゐ三ト	十八ゐ四ト	十八ゐ五ト	十八ゐ六ト
十八ゐ四ト	十八ゐ五ト	十八ゐ六ト	十八ゐ七ト
十八ゐ五ト	十八ゐ六ト	十八ゐ七ト	十八ゐ八ト
十八ゐ六ト	十八ゐ七ト	十八ゐ八ト	十八ゐ九ト
十八ゐ七ト	十八ゐ八ト	十八ゐ九ト	十九ゐ

一　黄　文　ゐ　分

十九ゐ一ト	十九ゐ二ト	十九ゐ三ト	十九ゐ四ト
十九ゐ二ト	十九ゐ三ト	十九ゐ四ト	十九ゐ五ト
十九ゐ三ト	十九ゐ四ト	十九ゐ五ト	十九ゐ六ト
十九ゐ四ト	十九ゐ五ト	十九ゐ六ト	十九ゐ七ト
十九ゐ五ト	十九ゐ六ト	十九ゐ七ト	十九ゐ八ト
十九ゐ六ト	十九ゐ七ト	十九ゐ八ト	十九ゐ九ト
十九ゐ七ト	十九ゐ八ト	十九ゐ九ト	廿ゐ

一　黄　文　ゐ　分

六十三文六ト	六十四文七ト	六十五文八ト	六十六文九ト
六十四文一ト	六十五文二ト	六十六文三ト	六十七文四ト
六十五文二ト	六十六文三ト	六十七文四ト	六十八文五ト
六十六文三ト	六十七文四ト	六十八文五ト	六十九文六ト
六十七文四ト	六十八文五ト	六十九文六ト	七十文七ト
六十八文五ト	六十九文六ト	七十文七ト	七十一文八ト
六十九文六ト	七十文七ト	七十一文八ト	七十二文九ト
七十文七ト	七十一文八ト	七十二文九ト	七十三文十ト

○殘六黄八百文ゐ附玄黄文ニ分十七ゐあ〻て右く殘の根いうかてそとの
根百拾文ゐ六分ゐりと云ふ　ふづ六黄八百文と右ニ玄ゐ十七ゐあとそ
右く殘をさうゐて十七ゐあくうる分り

是ハさんようを右う
ゐる人の事あふと
くくうるこ法けて
あゐにあるそうの
なり

○銀二百十二匁八分五厘一毛文ふ分十七匁あり　て右く銀に銭何程
そとといふ　銭十二貫文百文なりとき　銀二百十二匁八分五厘を
十七匁をもつてこれを十二貫文百文にかゆる
○銭七貫三百七十二文五厘一毛文に分十八匁あり　て右く銭の銀何ほどを
といふ　銀百三拾二匁七分五厘あるもの

| | | |

五十匹五百三分ばかりとうまれい七貫八百五十文ツつとゝかるべし

○銀五人の事

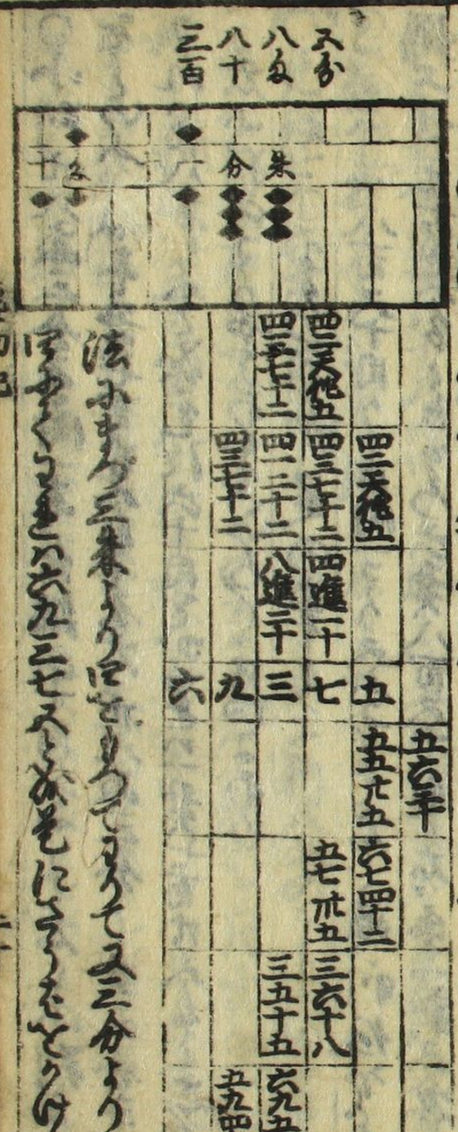
○丁銀五百六十九匁五分時ゝ紙ゝ五分ニ
に四二つゝ引ゆゑ五人ゝ分ゆゑ丁
銀五匁宛ゆゑ紙ゝ五分ニ匹百八
十五匁五分ゝ五匁ゝ云ゆゑ丁銀五百六十九
匁ゝ五分ゝ五匁ゝ五分ゝ五匁ゝ五分ゝ五

法十五文三分六り三毛六糸三忍と成毛に右く金七文匹分八りとうあるを
い銀八十匹五文九分九り九毛九糸九忍と成毛に右の銀のかくのごとくてまを入るくあ
りてを銀なをうかるとうりよりの判のことをあり
○金七文匹分八りふ判のさうを又百目用うふりて右く金ふ銀の行をそく
いふ附　銀八十文忍と成毛に金七文匹分八りと成毛に右の銀を又百目をかるれば三
七匹と成毛を匹十匹五てこれい八十文忍と成毛に金ふかをそこと
○銀二百目五ふ附判金のさうを又百目用うふりて右く銀に金ふかをそこと
いふ金十七文六分と云右を二百目と成毛に匹十匹をかるを八八と成毛
をさうを又百目をかるをうをを金十七文と右くけり
○上金九十六文九分八判金を銀ふ附三十八文うふのさうを也　中金百三十
八文六分八判金を銀ふ附三十二文二分又りのさうを也　下金八十二文二分又りのさん
を銀ふ附匹十七文うふのさうを也　三口合三百十七文七分又りの金を判
金ふうふの附右く三口のうを判金の行をを　判金七枚六文よ成毛に云出ん
上金九十六文九分と成八毛をそこれい二枚又五文を又の中金百九八文六下を
匹十二中く判い三枚三文と成又下金八十二文二分又りと匹十七文くうをを

金四十四判　二二加下十二　二匹加下二十匹　三六加下三十六匹九　加下金に　四十四進一十

○小ぢん五文の事

○小判八十七文五分一五ふ附一五ふ分張又十六文五ふ分して右の小判を張行をを
いふ張匹貫八百七十二文七分小判八十七文を五ふ張又十六文をとうるを
○小ぢん六文三分二朱五ふ一五ふ分張又十六文五ふ分して右の小ぢんふ張行
をとををいふ附を張三百八十八文八分ありとをいふ



法ふまんの三朱ようにをりてうをして又三分ようちへ法
ほうをくうをを六六九三七文と成毛にうををとりけるあり

○小利九八五三分五厘一毛ニ付銀六十匁ヲ入テ右ノ小利ヲ銀ニ仕直
セバ銀七百九十八匁三分ト毛ト云ハ右九八五三分ヲ毛ニ三分ヲ
ヲレバ九八五三分ト毛ニ六十匁ヲ入ルト云ハ一貫七百九十八匁ト
右小利ノ元利ヲ合テ銀ニ仕直ヲ

○元利合

○元利合八百匁ヲ十匁ヲ入テ右ノ銀ニ利ヲ付ル仕様ハ
○銀ニ貫三百匁ヲ一割ノ利ヲ付ル時ハ元利合ニ貫八百十六匁ト云ハ
元利合ニ貫八百十六匁ヲ入テ銀ニ仕直ヲ
○銀元利ヲ合三貫匁ニ元利ヲ付ル仕様ハ
元銀二貫五百匁ヲ入テ三貫匁ト云ハ
○銀元利ヲ合七貫匁ニ元利ヲ付ル仕様ハ
利銀一貫百六十匁ヲ入テ元利ヲ付ル仕様ハ

八百五十匁ヲ入テ銀ニ仕直ヲ
○銀ニ貫三百匁ヲ一割ノ利ヲ付ル仕様ハ
元利合ニ貫八百十六匁ト云ハ
○元利合三貫匁ニ元利ヲ付ル仕様ハ
元銀二貫五百匁ヲ入テ三貫匁ト云ハ
○銀元利ヲ合七貫匁ニ元利ヲ付ル仕様ハ
利銀一貫百六十匁ヲ入テ元利ヲ付ル仕様ハ

ヲ付ル仕様ハ十二ヲ以テ元銀ヲ掛テ利銀ヲ出ス事ナリ
○一年ニ付テ利ヲ付ル仕様ハ十二月ニ付テ利ヲ付ル事
ヲ以テ利ヲ付ル事ナリ
○一割ノ利ヲ付ル仕様ハ
一割ノ利ヲ付ル仕様ハ合一貫百九十六匁八分三厘五毛ヲ銀ニ仕直ス
三割ノ利ヲ付ル仕様ハ合一貫四百九十匁七分六厘一毛ヲ銀ニ仕直ス
五割ノ利ヲ付ル仕様ハ合一貫七百九十匁八分三厘九毛ヲ銀ニ仕直ス
右ノ利ヲ付ル仕様ハ銀一貫ニ付テ一年ニ十二匁ヲ付ル仕様ナリ
○銀一貫目ニ付テ十年ニ付ル利ヲ十二ヲ以テ掛ル仕様ハ
銀ニ付テ十七貫六百六十匁ヲ出シ利銀ヲ付ル仕様ナリ
○元銀七十六貫八百匁ヲ一ヶ月ニ付テ利ヲ付ル仕様ハ
○元銀七十六貫八百匁ヲ一ヶ月ニ付テ利ヲ付ル仕様ハ
利銀二貫六百八十六匁ニ付テ利ヲ付ル仕様ナリ
右ノ通元銀七十六貫八百匁ヲ入テ利ヲ付ル仕様ハ

月ふの行程とゝ利根三貫七百六十四九分二リふなり　まつ百四
八分と左ふ垂ものとなくて根ふ六くしひろくまいえ根利根九三八十貫
八百六十四九分二リふ　ゆ以内ゆ根をゝ
○ゆゝ米六十石ゆ三年の月ゆゝ利と加い附ゆえよゆ二ヨリ二年ゆは
二ヨリ三年ゆ一ヨリ右三年の月に利合行程ゆゝ同　利合百二石
九斗六升ふゆるとゝ八まづえ六十石を左ふ垂十三をゆくまいゆ七十八石
ゆゆ利ふ十二をとゝ八まゆ九十三貫六斗ふ以ふ十一ゆくれいえ利九ふ左ヨリ也
○米利九三年の月合百九七石二斗八升ゆ利ゆゝ九三ヨリ二年ゆ
ゆ二ヨリ三年ゆ一ヨリふして右くえ行ヨゆゝ附　利米八十石ゆ左
まづ百四七石二斗八升と右ふ垂て三年ゆの一ヨリに十をとゝ八て十一とた
ふ垂左く百四七石二斗八升をとゝ利ゆ二年ゆの二ヨリふ十を加て十二を
たゝ垂左のヨリくゝをゝ新ヨリふゝゆゝの年の三ヨリに十を加て十三を
たゝ垂左のヨリくゝをとゝまいえ米八十石をゝ左くなり

○さねもめんうゝくゝ
のさねもめんの丈尺すゝ云大ゆ二の一ヨリ二尺三すゝをゝ左くて一尺三ゆふ

○もめんてうゝ行根ゆ丈尺ふ也ゆゝ也ゆゝ二丈ふ丈ふ附一尺の根ふ行程ゆゝ
ゆふ一尺ゝ行きゆ八りゆゝまゝふ尚ゆゝ也ゆ二丈
丈尺てゝ也ゆゝ八まゝ行きゆ八りゆゝまゝゝゝ
又ゆ也丈ふ行ゆゝゆゝゆゝ行きゆ八りゆゝまゝゝゝ
ふゆゝ也丈ふ行ゆゝゆゝゆゝ行きゆ八りゆゝまゝゝゝ
○ゆりゆんゆゝれ八尺丈すゝ附行ゆゝ行ゆゝ
にゆゝゆゝゆゝ根一ふ七分と云中八尺丈すゝ丈ふをゆゝまいゆ二八とふ
ゆゝゆゝゆゝれ八尺丈すゝ二丈八尺一てうんのさんゆゝゆゝ
一ヨリ八毛とゆゝまづ八尺丈すゝ丈ふをゆゝまいゆ二丈八尺で
ゆれゆゝ毛ふ丈ふ毛ヨリ八毛とふ以なり
○根二ふ武分ふ附ゆめんてうんに行丈ふゆゝそゆゝ二丈八尺のさんゆ
みゝて右ゝ根ゝ左行ゆれゆ行程ゝゝ云一丈七尺九寸二分とゆふまづ云
武ゝと右ゝ垂て二丈八尺をゆゝまいゆ八九六ゝふ毛をゝふゆゝそゆれを
毛丈七尺九寸武分と右ゝ

右こんねんもめんこそも者こんのかぐさ者身ゆくこうけ
こかにおこそのもの

○入子さんの事

○のこいにせつのまるとは花たを二百三百二百八分二百三百二百八分二百三百二百八分

先人ぶん二百五十分と云。惣一人の出ぶん〇六千四百貫八百目をうくるを
れ二六二と云。惣そと取る百六十貫目ふそうれい人ぶん百一分二ぶと云ば二ぶと
いふのもの也。惣時ふ一分のぶりあり百六十目と云。惣百
一分宇目と云。惣一ぶ六百四十貫ぶうくるを二ぶわりたるを百
ぶと云。惣也。惣六十四貫目のぶの人ぶんのぶり分あり
〇ちんうう七十分と六十四貫八百目ふかうれい四ぶ二ぶと云ば惣ぶ二ぶと取る銀
百六十貫目ふくうれい九八分三ぶと云ば惣ぶ二ぶと云ば惣ぶ一分
の目百六十目を三ぶうのぶりあり九八分三ぶと云ば惣ぶ一分
ふくうれい九八分十四貫ぶ惣ぶ十六ぶを四ぶ
〇ぶ八千四百分と六十四貫八百目ふくうれい八四ぶ二ぶ惣ぶ百
六十貫ぶふくうれい二ぶ四百分と云ふ惣ぶ
〇米も六十四貫八百目ふ二百八十ぶ惣ぶ一八一四ぶ惣ぶ
百六十貫ぶふくうれい百十三ぶを四ぶ惣ぶ四ぶ惣ぶ一ぶを
のぶ惣ぶ三ぶ八ぶと四ぶふうれい百十三ぶを一ぶ八ぶ惣ぶすぶ惣ぶ
右後二人のぶり分も此ぶりと同ぶ也

〇ふのうんちんの米

〇ふのうんちんの米二百五十石はらうて行の賃ぶりたつる時ふうんちん百石
分七石ぶり右の二百五十石の内ふくうれうんちん行の賃ぶりと云ふ惣
ぶ八十六石二斗五升五合一夕四ぶ惣ぶ二百五十石ぶ七石ぶ惣ぶ一七八
ぶ惣ぶ也。又右ぶ惣ぶ行賃ぶ惣ぶ
夕六十ぶ云ふ右二百五十石ぶ惣百七石ぶ惣ぶ十一貫
〇米ぶ惣ぶ二人ぶ惣ぶ惣ぶ時ふ銀十一貫
二百目ぶ二人ぶ惣ぶ惣ぶ惣

八五をかける時は二百八十四万六千八百六十四円
つゝ九十四万三千六百十七貫五百十五文
百十六石五斗三升と出る　又八のこゝ法
かゝる　うしてゝ九をかゝる第二百七十
五万三千に六貫八百四をかゝれば八七二八
二百七十二万六千四百と出る　これ
○けん地はゝりの事
けんちはゝりの事ふるうく
○此田地いくばくぞ
三反に畝十六歩有

十万	十万	十万	七万
八十坪	八十坪	八十坪	採物
百坪	百坪	百坪	七十坪
百坪	百坪	百坪	七十坪
百坪	百坪	百坪	七十坪
八十	四十	四十	十四

長さ三十七万

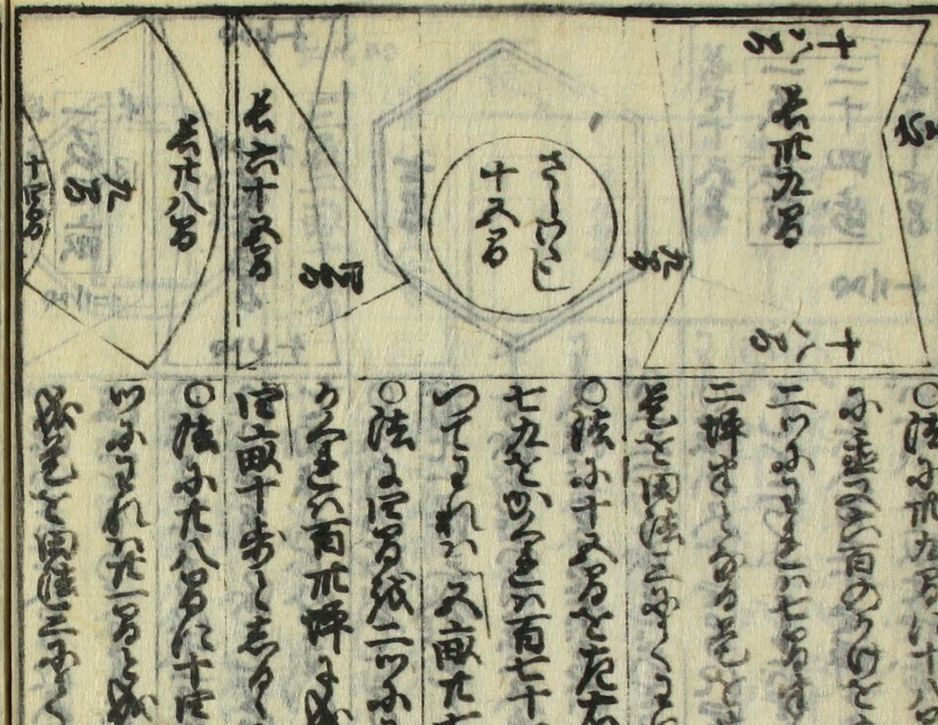
長	廣	田法
十間	十万	百

うけさん　六
七八八十六間　三進一十　五坪ゝ万八千四百六十
二七一百四十　三八二百四十　三一　三十一
二三　六百　千　三一　三十一
法ふるさ五七万五千四百八十六
五六坪と有る地これを田法三百坪をもつてこれを
三反に畝十六歩とゝなゝべし
かゝるさ　百三十三間
○此田地
いくばくぞ
答て三反に畝十七歩四分也とゝ

三八二十四
三八二十四　三七二十一　四十二進一十
三七二十一　三一三十一
一七七　千三一三十一

○ひろさ七万八千二百四十二すとせば八千二百三十二万とりてひろさいくばくぞとこたへていはく
ひろさ八十二
一八

○ひろさ七万八千二百四十二すとせば八千二百三十二万とりてひろさいくばくぞとこたへていはく
ひろさ七万八千二百三



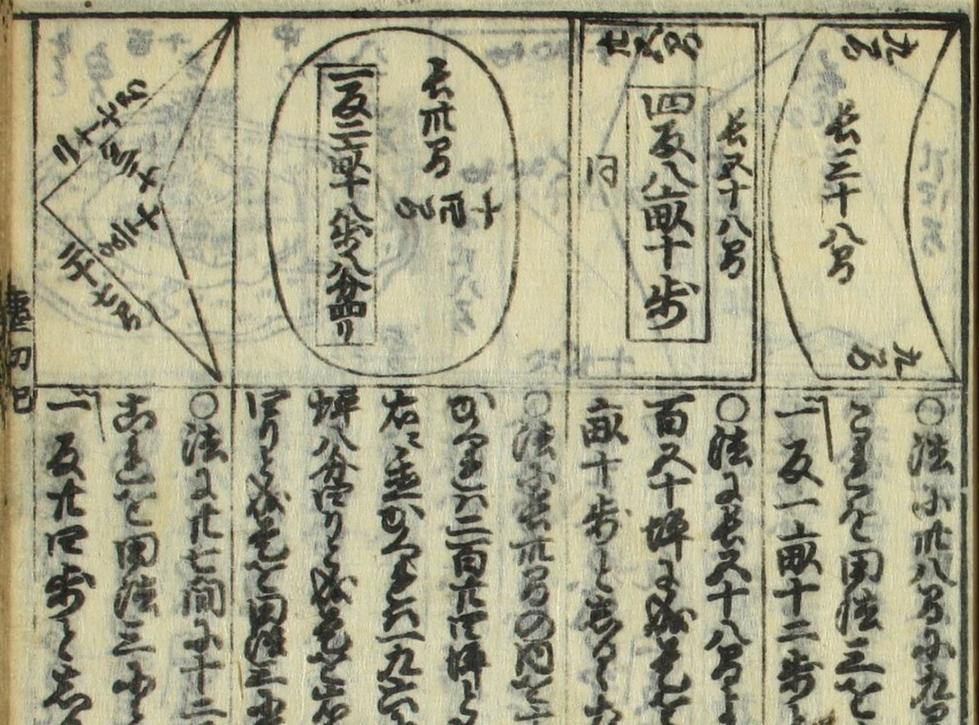
○法ふ九九号に十八号をうのてて七百二坪ふ歩をを右別ふ歩二百のうのとを九号ふりにうてて十八こなるをを二つふうをに七号すとうるをと九号ふ歩ろれい二百九十二坪ぞとを四法三ゆくうれい一反三畝十九歩ぞを

○法ふ十八号を九九号に歩ろうのを二百九八坪とふ歩をを七九をのうを六百七十七坪七分ふりとふ歩をを四法三をを

つてうれい 又畝九七歩七分ふりとふるをかり

○法ふ九号ふ歩二つふうれい二号とふ歩をを歩六十八号ふうのを六百九坪ふ歩これを四法三ををうのうをを

○法ふ九八号に十九号ふる時ふ歩千二号とふ歩をと三つふうれい九一号とふ歩をに九号をのうを六百八十九坪ふふ歩をを四法三ゆくうれい 六畝九歩ふるをを



○法ふ九八号ふ九号をのうを六百九十二坪ふ歩をを

一反一畝十二歩とふるををかり

○法ふ長五十八号を九九号に歩ろうのを六千九百九十坪ふ歩をを四法三ををうのうをを

一反八畝十歩とふるをかり

○法ふ長九九号の四を十九号に歩ろうのを六千九百九十坪ふ歩をを右に歩ろうのを六百九十坪ふ歩をを別ふ歩をを右に歩ろうのを六百九十坪八分ふりとふ歩をを法七九をのうを六百九十坪ふりとふ歩をを四法三をを

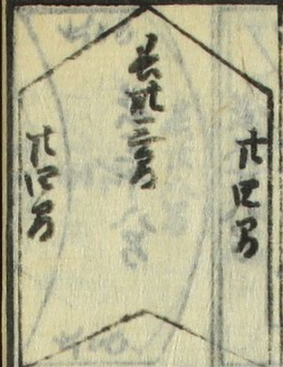
○法ふ九七間ふ十二号をのうを六百九十坪ふ歩をを

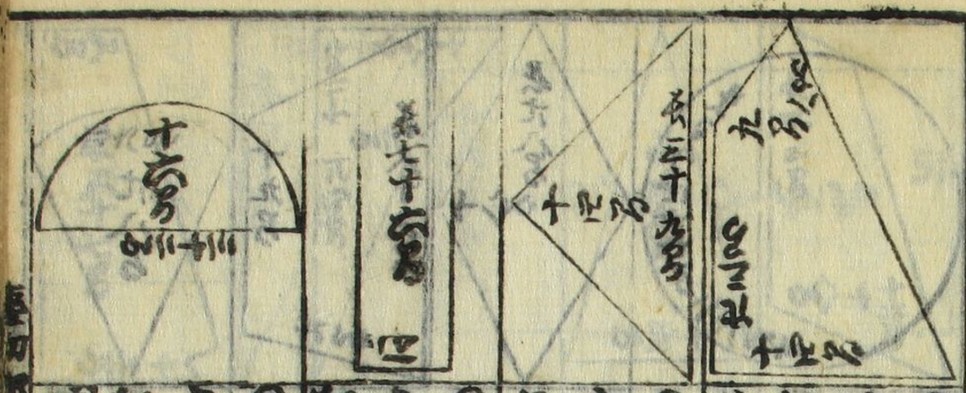
あるをを四法三ををうのうをを

一反九十歩とふるをかり

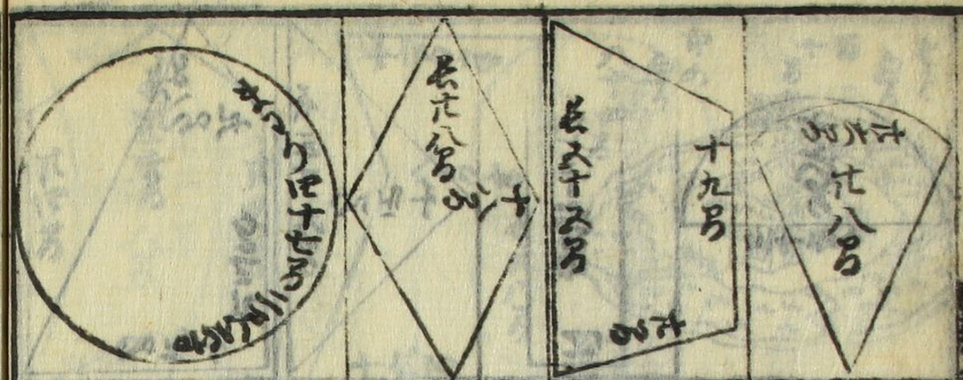
○はたけ長さ百十五歩ひろさ八十四歩なるとき
とのすみより百十五歩のうちひろさ六歩なるところこれ何程
なるぞ　答　二反十二歩　法ふそくなるとき
ひろさ二百四歩なるとき長さ百二歩ふそくなる
そしてひろさ四歩なるとき長さ百十二歩なるとき用法三ツ
てうべし

○法ふそくなるにはその八歩をひろさ八十四歩にくわ
合百六歩なるゆゑ長さ百二歩をこの八歩にくわ
へ八歩ふそくなれば長さ百十二歩なるゆゑ
○法ふそくなるにはその八歩をひろさ八十四歩にくわ
と二つのうちこの八歩をふそくなるゆゑ八十八歩とうくべ
八反百十三歩　答　一反七畝三歩　答

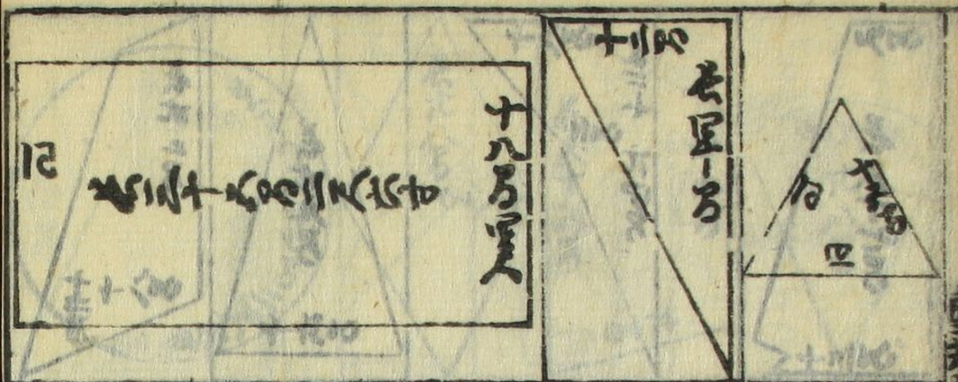




○法ふそくなるにはその九歩をひろさ七十六歩にくわ
へ九歩ふそくなれば長さ二十九歩なるゆゑ
八　九畝三歩　答
○法ふそくなるにはその八歩をひろさ七十六歩にくわ
うれば一畝八歩ふそくなれば八十八歩に分六厘と知べし
○法ふそくなるにはその八歩をひろさ七十六歩にくわ
これふそくなる法七九と四ツとこの百二歩に分八厘となるゆゑ
七九と四法三ツとうの百二歩にくわへうべし
一反三畝十二歩　答　一歩に分八厘と知べし



○法ハ十七ノ内ヲ二ツニ分テ其内ノ十三ノ内ヲ二ツニ分テ其内ノ八ノ内ヲ二ツニ分テ其内ノ二ツニ成ル時ハ其内ノ二ツヲ掛テ其内ノ二ツヲ掛テ其内ノ二ツヲ掛テ



○法ホ十八万坪ヲ長サ巾ヲ掛ケ二百九十六坪ホ坪ヲ三角の法ニ三ツニ分ケ一ツ宛ヲ長サ巾ヲ掛ケ三ツ宛ヲ割ハ二百七十七坪ニ分ケ二

に南ちこの内六分に南ちと云先物数と云て垂るとれ割に六つ八分と云物也
円ある八万七千三百石ほどに物数三万八千九百六十に石ほど附て南ちとの
とのふ三そん二分とのふ まれるの円と物数とを引て残て一万八千三百五十六石
ほど三そんとなるゆくまれに三そん二分と云ものなり
○物数二万二千八百八十石ほどに六つ八分ゆてびるゆふかとそとのふ云三
万八千二百石と云まつ二万二千八百八十石とそんれかるふかるなり
円二万二千八百八十石ほどに米五米二斗ほど米六斗ほどの附ほど物数ほど米
程とのふ 縄 合千八百五十石ほど米也 石ほど三万二千八百八十石ほどに垂る附ほどのうそん
○紙二万二千八百八十石ほど附ほど米五米なる米ともて行かてみそとと問 合二万
ほど千七百十石ほど米ありとのふ まつ右ふ二万二千八百八十石とそとほどそとと石
八斗ほどもつくのなり
○なる米ほど米五米合二万千六百十石ほど附よりん米つくりに行かとそとと問
米米一万九千八百石也 先石ほど二万千六百十石ほどに垂ほどと一石八斗ほどなる也
○なる米ほど米五米ほどに二万ほど七百十石ほど附ほど円ほど米五米なる米つくりに
行程ほどと問 縄 合千八百五十石ほど米 まつ石ほど二万ほど七百十石ほど附ほど物数に垂ほどと八斗ほど

てまれに三石ほどに物数ほど米ほど二万ほど七百十石ほど附ほどをまれに有るなり
円二万ほど七百十石ほど附ほどに米なるに附ほどに米なるに附ほどに米なるに附ほどに米なるに附ほど
百五十七石ほど米也とのふ まつ二石八斗ほどに垂ほどと云ほどに米ほど
ほどなる也ゆくに石二万ほど七百十石ほど附ほどをまれに入
円二万ほど千七百十石ほど附ほど円ほど米五米つくりに行かとそとと問 実米
千三百七十二石八斗なりまつ右ほど一石八斗ほどに垂ほどこれほどに六斗ほどまれに一八
ほどに垂ほどに垂ほどこれほどに六斗ほどまれに一八
○実米ほど米五米二百七十二石八斗ほど附ほどに米なるに附ほど
なる米二万二千八百八十石ほどに垂ほどに六斗ほど米割なる米なる也
○口米ほど百五十七石六斗ほどある附ほどに米なる米に附ほど米
二万二千八百八十石ほどなるとのふ まつ右ふ二万ほど百五十七石六斗ほどに米
まれに米となるなり
○口米ほど米五米ほど千八百五十石ほど附ほどに米に附ほどに米
二万二千八百八十石ほどに垂ほどに六斗ほどに垂ほどに垂ほどに垂ほどに垂ほどに垂ほどに垂ほど
○口米ほど米五米ほど千八百五十石ほど附ほどに米つくりに行かとそとと

同米二百六十七石六斗也　まつよ八百五石二斗と右を並二斗とのうちを三六六斗八升となる米をハ升ゆくこれハ口米と云る〜なり

○口米文米なれば千八百五石二斗也　まつよ八百五石二斗に六斗とのこれハ一下九文米千三百七十二石八斗也　まつよ八百五石二斗に六斗とのこれハ一下九八二斗と成米をハ升成りつくこまこハ文米と云る〜なり

○年貢米八百六斗七升ゆゑ口米二斗ゆゑ引て納米の残納そこゆゑ　納米八石六斗七升也　右を八石六斗七升と並これを一石二斗ゆゑくこれハ残る米八石六斗七升と云る〜なり

○猥六百七十五俵年貢の方へ納ル時一石に付五俵ツの米勘ゆゑ口米引て残納そこ向　納ル六百七十五俵　右を六石二斗七升五合八勺也　右を並ル六百七十五俵と並を一石の代五俵と並を乗ル二斗を入ると加へて五俵又五合五勺也　ゆゑ右を猥六百七十五俵を割ル五六石二斗七升五合八勺と云米也

○ゆゑとの法式事

歴代の一升ハひろさ寸九分ふかさ二寸七分也　但一合ハ〜〜〜

升桝

ふくさ
八寸八分
二リ二モ

升桶

ふくさ六寸七分八リ

○むし升乃法の事

一升	ひろさ八寸四方 ふかさ二寸八分	
九合	は四寸八分三リ は二寸四分二リ	
八合	は四寸六分三リ は二寸三分リ八モ	
七合	は四寸四分三リ は二寸二分リ八モ	
六合	は四寸二分一リ は二寸一分八モ	
五合	は三寸九分六リ は一寸九分八リ	
四合	は三寸六分八リ は一寸八分四リ	
三合	は三寸三分四リ は一寸六分七リ	
二合	は二寸九分一リ は一寸四分六モ	
一合	は二寸七分七リ二モ は一寸三分八リ六モ	

に一升ハ一分ほどの深さ
とくとくふかしてこれ二方二寸八百坪ほどあるもの
三分二リとなりくくふかさ二寸三分二リとなる也

升を法あるひは一合升を拵る時

○万方条数ハ升用法の事

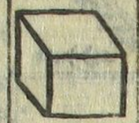
今升の法

一分ほどの
ひろさ

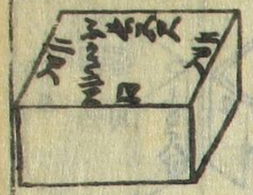
○法ふかさ寸九分とたたく亟ひろさ二寸五百一坪ほどあるもの
さ三寸七分とのこれハ二分ほどの深さ二升ハ六万ほどハ百七七坪入り
○法、長ハ寸とたたくふ亟ひろさ二寸
分とひろさハ一寸ほどの深さ二升の内
ハ六万二寸八百坪入なり

古升の法

一分ほどの
ひろさ



一寸四方
深一寸

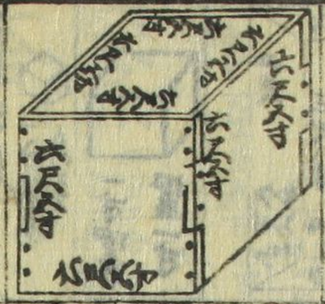


ハ寸六方とたたくふ亟ひろさ二寸五百一坪ほどあるもの
ハ寸六方二寸八百坪入なり
○先ひろさハ三尺八寸ほどあるもの二升ハ六万ほどハ百七七坪入なり
ふたつ三尺八寸ほどあるもの三尺八寸ほどあるもの二尺九寸ほどあるもの
そもそもたのこの三尺九寸ほどあるもの三尺九寸ほどあるもの三尺
下ハ六方ほどあるもの三尺九寸ほどあるもの三尺
○法ふかさ六尺八寸ほどあるもの二升ハ六万ほどあるもの二寸五百一坪ほどあるもの
ふたつ三尺八寸ほどあるもの二升ハ六万ほどあるもの二寸五百一坪ほどあるもの
三尺八寸ほどあるもの二升ハ六万ほどあるもの二寸五百一坪ほどあるもの
六尺三寸ほどあるもの二升ハ六万ほどあるもの二寸五百一坪ほどあるもの
○法ふかさ六尺八寸ほどあるもの二升ハ六万ほどあるもの二寸五百一坪ほどあるもの
ふたつ三尺八寸ほどあるもの二升ハ六万ほどあるもの二寸五百一坪ほどあるもの
三尺八寸ほどあるもの二升ハ六万ほどあるもの二寸五百一坪ほどあるもの
六尺三寸ほどあるもの二升ハ六万ほどあるもの二寸五百一坪ほどあるもの

今升に
ひろさ三尺八寸ほどあるもの二升ハ六万ほどあるもの二寸五百一坪ほどあるもの
ふたつ三尺八寸ほどあるもの二升ハ六万ほどあるもの二寸五百一坪ほどあるもの
三尺八寸ほどあるもの二升ハ六万ほどあるもの二寸五百一坪ほどあるもの
六尺三寸ほどあるもの二升ハ六万ほどあるもの二寸五百一坪ほどあるもの

六角

八角



○法ふ六角のおりそ三すと左右に垂るゝれハ九と水もに六角の法二六九八とのりそハ二三二八二と水もふふくさ八寸とゝれハ一八七寸六六と水もこ十六ゝれハ「古井」そ二井九合九夕入と志るゝなり

○法ふ八角のおりそ二すと左右に垂るゝれハ二と水もとゝゝして八と水ふ垂もふふくさ九すとのりそハ七二と水もと八角の法ハ二ハ二をかて割ハ二三八二九と水もに十六とのりそハ「古井」そ二井七合八夕入と志るゝなり

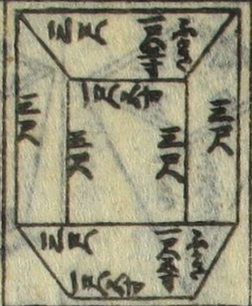
○法ふ六尺六すとたちふとゝれるゝハ二三八と水もふ六尺六すとくれハ二七二六二八と水もと今井の法六ハ八二七をかてくれを「今井」そ二六二十二石三斗六井二合七夕入と志るゝなり

又古井ゆゝく法ゝる附ハ六ゝ二七二六二八と水もに十六ゝ水ゝ入と「古井」そ二六二十三石九斗二井入と志るゝなり

○法ふ九すとたちゝ垂るゝれハ六八と水もに発法七九とのりそれハ六九九と水もふ浮ゝ七すと分とのりそハ二七二七と水もと今井の法六ハ八二七ゝて割ハ「今井」七井二合六ゝ入と志るゝ也

「古井」の法十六とのりそハ「古井」七井二合七夕入と志るゝ也

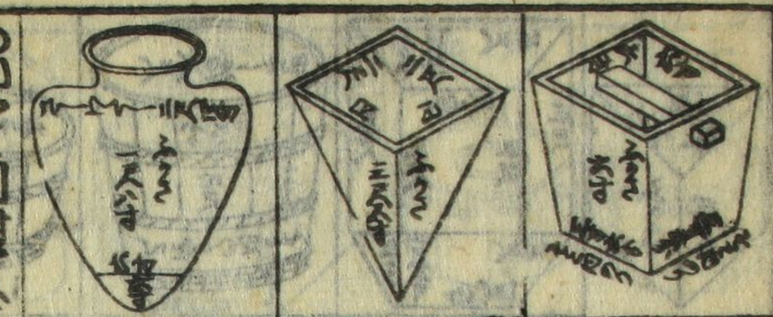
ふくさ



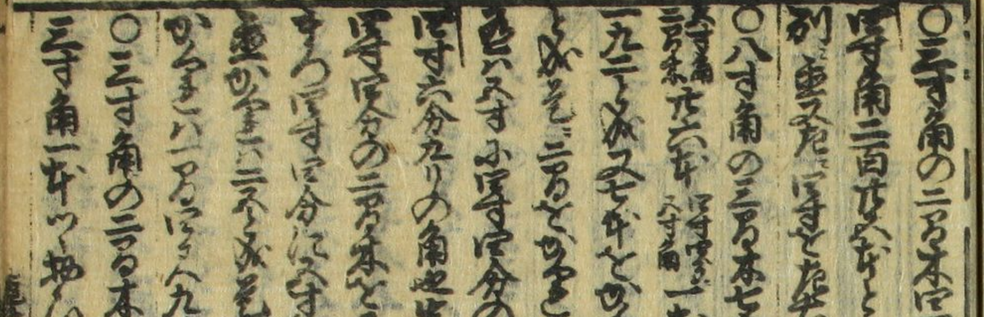
○法ふ上の一尺八三すと下の七尺八すとのりそハ二尺四寸ふ割ハ一尺八二すと水もとたゝ垂るゝれハ六四尺四寸と水ふ七すとのりそれハ二下下八と水もに発法七九とのりそハ七九と三二と水もと今井の法六ハ八二七ゝて割ハ「今井」一井二井二合八夕入也「古井」一井二井七合四夕也

○法ふ六尺八三尺八と加て九尺八と水もに三ツふ四尺八すと水もに垂るゝれハ二下二尺ふ水もに垂るゝれハ四尺八と水もふ法七九とのりそれハ二下下八と水もふ法七九とのりそれハ二下下八と水もふ法七九とのりそれハ二下下八と水もと今井の法六ハ八二七ゝて「古井」ゆゝく十六合二井八合四夕入と志るゝなり

○法ふ三尺八三尺八すとかけて六尺八すと水もに三ツふ割ハ三尺八二すと分と水もに垂るゝれハ二尺八と水もふ法七九とのりそれハ二下下八と水もふ法七九とのりそれハ二下下八と水もと今井の法六ハ八二七ゝて「古井」の法十六とのりそれハ二尺八と



○法六寸にて三寸六分とあるに九寸六分とあるに二つふ割に
す八分とあるもて左右に垂るみる時二三ト成とあるもにふうこと六寸と
いうと二三八二とあるもて今弁の法六尺八分七毛ゆくうれい今弁二弁一
合三分とあること也　又十六とうれい弁二弁二合一分八とあるへ
○法ふ尺二寸八とたたに垂ひやうとあるもよ時三寸八寸とうみ二尺
とあるもて弁の法十六とうれい三寸とあるもて三ゆく割い弁七寸
寸弁六合五分六毛又今弁の法ふ尺八分七毛とあるもて三とうけく
五寸とあるもて左二尺とうれい今弁七寸弁九合八分六毛とあれとん
○法ふ三寸八寸とたたに垂ひやうとあるもて三寸八寸にて
のとうれいふうて二寸八寸とあるもて左の又二尺ふうて二寸八二尺とあ
もて三ゆく割い尺とうれい八とあるもて割て垂ることのさ一法六寸と
たたに垂ふうさのたすとうけ三ゆく割い七寸とあるもて左尺六寸八
の円をそ引時尺八三寸とあるもに弁の法とうて割い弁七寸二弁又今七寸とを
ちとトも　ゆく分を集ひのろく
○材木うとうひすうう一の事



○三寸角の二尺本は百分ゆとも寸角の二尺本はゆとうて時ふ寸角の径をとう
寸角二百五十八とあるとあるとあるで垂ひやうの今ふ六分九とあるもを百分ゆとうこと
割て垂ふたに寸とたたい垂ひうまふ六十六とあるもて左の三ふを割い寸角二百五十八とあること
○八寸角の三尺本七寸五分八寸角の二尺本ふうて八寸角の径をとう
三尺本五十六寸八寸角一寸とあるもうて八寸とたたい垂ひやうとあるもに三尺とうふ
一九二とあるもて七寸とうれい一三尺とあるもふ割ふうて垂ひうれい二尺
とあるもて三尺とうれい八とあるもゆく左一三尺を割い七寸とあるもて
垂ひふ寸寸分の角とあるもひけ寸寸分とあるもて左の径をとう
寸六分九りの角也七寸寸分とあるもひうまふ六寸二寸とあるもを兩本法て割い径をとう
寸寸分の二尺本とあるもの寸寸分の角ゆうて垂ひうの径をとう
寸ふ寸寸分とあるもうれい二寸とあるもに垂ひうたに三尺とあるもて
垂ひうまふ二寸とあるもゆく左の法をとうれい一尺七寸とあるもて
ひうまふ八とうれい九寸寸分とあるもて
○三寸角の二尺本三百五十とあるもとあるもて八寸角の二尺本とうへひの時八寸角一寸とあ
三寸角一寸ゆく地ひふうちてうる時三寸角三百五十とあるもて八寸角の径を　九十

二坪と得る事なり一坪と云は三すとたたみ一畳の事なり三百六十とうこれい三
二又と成もとたたみ割よ畳又たたみ又すとたたみ
ひろさと成もとたたみ三又と割九十二坪と云事なり
とすすめくこれに得る所分ふすの事一坪といふなり
○六すの角の二ろ本と二坪と成る所六分五厘の時ふ六すの角長六尺の時は坪に成
ぞ　代は九ふ七分五厘と云まろ得る六分五厘ふ六尺とのりとは二三七又と成もとこ二ろ
のは一ふ三尺とりつくこれいは九ふ七分五厘

○九本　長一ふ三尺　但もとまろ

又すの角ふ九本にて長一ふ三尺と成

長一ふ三寸七分とのり　法ふ者は一ふ三尺とのり

○六すの角　長一ふ三尺　もとは九本にあり

かりそ　長一ふ六尺に成る六分五厘　六の六すの角の長一ふ三尺と者法で割べし

○七すの九本　長二ろ　もとは二ろあり角にあるくに成すの角と成

長二ろ　ひろさは一二三尺ともとは畳もすくとりつくり

○六すの角　もとは九本にあり

○割べし　六二三尺と畳もに六すとのりは六すとのりは七分五厘

○ひろさ

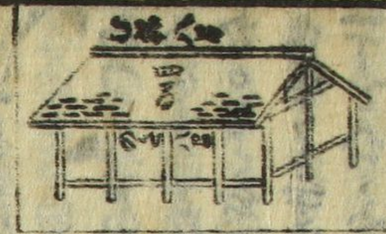
六すの角二尺ひろさ三ろのさ

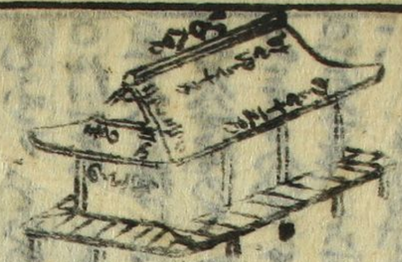
長さ三ろのさ

代は九ふ七分五厘也

ひろさは二ろとりつくもに二ろとりつくもに二ろとりつくもに

○いちこ[illegible]ふ[illegible]三百[illegible]
[illegible]百六十二[illegible]
[illegible]百六十二[illegible]
○[illegible]
○[illegible]
○





○ひ坪板あるゝゆえ六十に坪あるこけらふきにして板の板入てゝ
いふ間のゝこゝゆえ一すあ〜ゆゝゆえ一すあ八分わ〜ひゝゆえ一すあ三分わ
合一すあ八分坪板のゝ〜一すあ三分坪板敷百合合八十枚八分入こゝ一坪の
法にて三人もに六十にて坪ゝ〜ゆゝゆえ一すあ三分もに六十にて坪ゝ〜ゆゝゆえ一すあ三分もに六十にて坪ゝ〜ゆゝゆえ一すあ三分

○わりいしの法のまゝにしたがつてこれをもつてそのわりいしをこれをもつてこれをもつてこれをもつて

箇三百七十五枚とかゝ根に十五枚あとは十二枚ゆくゝなれいもゝくなり

○根箇百枚に付九枚六分の割とく二ゆる三百八十五枚に法の如くとりて根箇二百九八枚九分六り也こゝに二ゆる三百八十五枚と右に並べ九枚六分とかけまこゝ

ゆる也　右箇ゝうりの法並やうの法はけんちの法ゆるとは同おなじ

○江のふしん乃事

○此たくこの坪数何程あるとこゝに百三十六坪ゆるとこゝろつゝ下乃

ゆるこゝろに二ゆる坪八ゆるゆゑ坪を三つゆる割に成るさ二ゆる

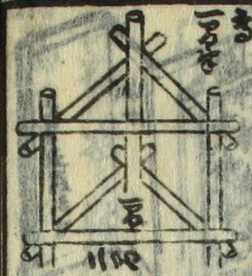
とかけまこゝ八坪とゆゑ坪ゆる十七ゆるとゝ成れい百九六坪とゆるゝ

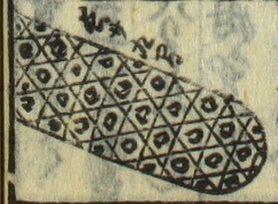
○此ゆるかごの坪数何程あるとこゝろ一坪二合七夕八　まつ五人を

左ゆふ並ゆるれい二人とゆゑ坪に付法七九とかゝれい一九七五とゆゑこれ

に九ゆるとゝろまこゝ一七七七五とゆゑ坪に付法三二五をとりて割

ゆる　五人





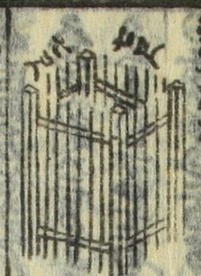
ゆる　五人

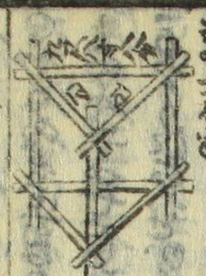
えゆるゝ成り

○此角のくに付根入をとゝろ一坪七合三夕八　法ゆ坪七五

法ゆ坪一ゆる成りくれい一坪とゆゑ坪ゆゑ一ゆる

まとかけまこゝ一坪とゆゑ坪ゆゑ一ゆる





ゆる　一ゆる

○此ゝくこの中ゝゝゝ石垣根入をとゝ一坪七合三夕八　法ゆ坪七五

ゆゑとゝ七五とかけゆゑ坪ゆゑ一ゆる坪とかけまこゝ七三五とゆゑ坪ゆゑ坪

の法に三五とゝ成りて割まこゝ八坪七合三夕八とゝ成ゆゑ坪

○此三角のゝくに付ゝゝ石垣根入をとゝ一坪七合三夕八　法ゆ坪

すゝ八分とゝ左ゆふ並ゆるれい三五とゝ成ゆゑ坪ゆゑ九七五一とゝ成ゆふ三角の法に三

三とかけまこゝ三六とゝ成ゆゑ坪ゆゑ一ゆる坪とゝ成ゆふ三角の法に三

三とかけまこゝ八坪とゝ成ゆゑ坪ゆゑ一ゆる坪とゝ成ゆふ三角の法に三

平坪の法の四三五ゆふ

ゆる　一ゆる

○此たくこの坪数何程あるとゝ八百九二坪ゆゑとゝ

まつ三の坪ゆゑ三ゆる合て五ゆる成りゆゑ坪ゆゑ

八ゆるとゝ成ゆゑ坪ゆゑ一ゆる坪に付合十九ゆるとゝ成ゆゑ坪

ゆふとゝ成ゆゑ坪ゆゑ一ゆる七五とゝ成ゆゑ坪ゆふ三ゆる成りゆゑ坪

とゝ成ゆゑ坪ゆゑ五十六ゆるとゝ成れい五百九二坪とゝ成ゆゑ

○此たくこの坪数何程あるとゝ二ゆる三百七十五枚とかゝ

ゆゑとゝ七五とかけゆゑ坪ゆゑ一ゆる坪とかけまこゝ

の法に三五とゝ成りて割まこゝ八坪とゝ成ゆゑ坪

○此三角のゝくに付ゝゝ石垣根入をとゝ一坪七合三夕八　法ゆ坪七五

すゝ八分とゝ左ゆふ並ゆるれい三五とゝ成ゆゑ坪ゆゑ九七五一とゝ成ゆふ三角の法に三

三とかけまこゝ三六とゝ成ゆゑ坪ゆゑ一ゆる坪とゝ成ゆふ三角の法に三

三とかけまこゝ八坪とゝ成ゆゑ坪ゆゑ一ゆる坪とゝ成ゆふ三角の法に三

平坪の法の四三五ゆふ

ゆる　一ゆる

○此たくこの坪数何程あるとゝ八百九二坪ゆゑとゝ

まつ三の坪ゆゑ三ゆる合て五ゆる成りゆゑ坪ゆゑ

八ゆるとゝ成ゆゑ坪ゆゑ一ゆる坪に付合十九ゆるとゝ成ゆゑ坪

ゆふとゝ成ゆゑ坪ゆゑ一ゆる七五とゝ成ゆゑ坪ゆふ三ゆる成りゆゑ坪

とゝ成ゆゑ坪ゆゑ五十六ゆるとゝ成れい五百九二坪とゝ成ゆゑ

○ひろさ　しんちのこの事

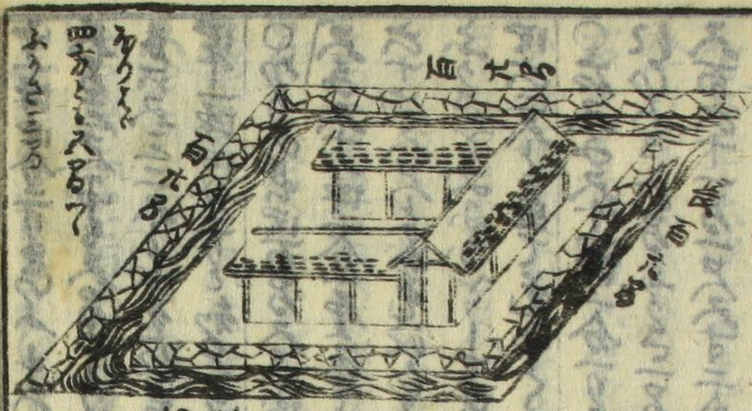
○ひろさ十二万ふうさ八万七千三百八十坪数の時は
とりて　坪数三万六千二百八十坪あるとしてまつ十二万を八分をの
ふるまいは九十六坪とあるを六千三百八十万にくれば三万六千二百
八十つぼとあるなり

右ひろさ人数多くあるの時一うちの人数千六百人あるこれ
ある諸仏のにわにあるをとりて人百九十万三千九百三十万九千九百三
百八十万にあるを六百人をとりけるなり人数をとりて人

○ひろの長さ百万ひろさ三万ふうさ二万八千坪数の時は
とりて二万七百六十九坪二分三りあるとしてまた三万二
万ひろさ二万七百六十九坪二分三りあるとしてまた三万の
長さ百万をとりて二万七百六十九坪二分三りとあるを三万の
ひろさをとりて二万七百六十九坪二分三りとあるを九二三万七千七百
六十九坪二分三りとあるを三万にくれば六九二三万七千七百六十九
坪二分三りとあるを百万にくれば六九二三万七千七百六十九坪二分三
りとあるを百万ふひろさ三万ふうさ二万八千坪数の時は

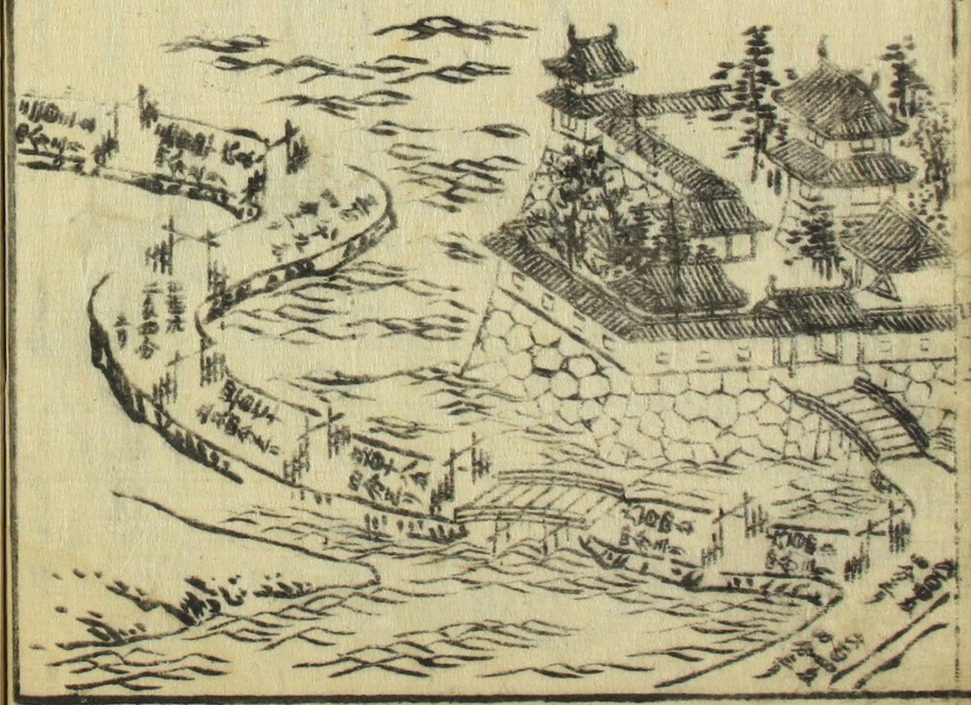
十二坪二分三りとあるを二万ふ六六六とあるを百万二万ふ六六六とあるを
六百万三万ふ六六六とあるを九二三万七千七百六十九坪二分三りとあるを
三万三万三万とあるを百万にくれば九二三万七千七百六十九坪二分三りとあるを
百万にくれば九二三万七千七百六十九坪二分三りとあるを九二三万七千七百六十九
坪二分三りとあるを

さこちらのあとをしつらすく表こちらすんなんふうある時ふうさ行のうまるをと
いく一つ二つ三人ちす二分くすりとこ表すまづ二百ろにたるの紙ろくまい三ちいくばそこ表
の表る三十一時一分一りを割ハ二百ロ十三ロ八ちとばろ十ロ表ちとうけるあり


ひろさ
百ろ
百ろ
百ろ
百ろ
ひろさ
ひろさ
ひろさ

○檜の八間張制合の事

○檜二町ふ張九一歩間八多り広円七歩間八町中々安と測ふあのに比しのあるいは三町あるもいまだ分こ坐し檜よりかに一町て張一枝つゝ植て坐しかとき檜のかまに七町とゆゑ三町ゑ時町てのうるの法如ゆゑ八間張ゆゑ三町の法二三三間天竺もあ九八ゑ三町の法二三三もあ金ゑ色ゑもと右の九八ゑ変て九三ゑ三町の法二三三もあ金ゑ色ゑもと右の九八ゑ変て九三ゑ十三ゑとうれ九一歩に百六十二ゑとゆるもゑ歩間式ゑ八歩に百六十二ゑになるとゑ式張町数十に町ゆくゑんゑ百に分三り坐ゑ三りゆゑ



○ゑ九ゑ本の分ゑ法ゑ分ゑ本ゑ

○ゑ九ゑ法分ゑ本ゑのゑ九ゑ法ゑ九ゑ本ゑ

のゑ分ゑゑ九ゑ式ゑ本ゑのゑ

ゑゑゑ

○町法りつの事

○むりやいおんの立てかたあとことをさ物語こと 三町
廿八里二十八間一寸七分あるしるし 法ふ三寸五ぶ〇ふを二尺
一寸七分あるを紙つけく口ふをとりてむりやいの人り
うけとこんりゆふ〇ゆく八りに百り時もにこをかく
三八二分ほりとゆをもかくんのくけふを人を刺ぶ二百八里三
三三とゆひ三三三三六六とりの三尺一寸六分六りとゆ六十里、
刺三町廿八里二尺一寸六分六りとゆ百〜ぶんり
百町法りむりやいとゆをあとりの名ゆふ山りふ〇あるゆふい

一り 五十五町廿三里二尺一寸六分三り 廿七町四十六里四尺三寸三分 三り 十八町三十一里七寸二分
四り 十五町八十二里二尺三寸五分 五り 十一町六里四尺三寸二分 六り 九町十八里二尺八六寸
七り 七町八十一里八尺二寸五分 八り 六町八十六里四尺三寸五分 九り 六町十里二尺四寸
一分 八町廿三里二尺一寸六分 一分二り 八町三里二尺一寸九分 一分三り 四町廿七里八尺八寸
一分四り 四町十六里二尺六寸六分 一分五り 三町八十八里六寸一分 一分六り 三町廿八里二尺一寸六分
一分七り 三町廿八里二尺八寸 一分八り 三町四十三里六尺八寸

一分九り 二町廿三里二尺八寸五分 二分 二町四十六里四尺三寸三分 二分一り 二町廿八里四尺八寸七分
二分二り 二町廿一里二尺八寸四分 二分三り 二町十四里六尺八寸二分 二分四り 二町十八里二尺七寸
二分五り 二町十二里二尺一寸六分 二分六り 二町八里二尺三寸三分 二分七り 二町三里二尺八寸九分
二分八り 一町八十九里三寸 二分九り 一町八十四里六尺一寸三分 一町八十一里七寸二分

右の町法りうのむりやいの事紙ゆふ一寸の物ゆくつゆる板ふ一寸の物ゆくつゆる板
むりやいの事ゆゆゆ

年中之分合二百七十六俵八分二百八十七万四千二百二文かり

正月
生れる　十二文
殺らる　十四文

二月
同　八十四文
同　九十八文

三月
同　八百八十八文
同　六百八十六文

四月
同　二千八百十六文
同　二千八百二文

五月
同　二万八千八百十二文
同　三万三千八百六十四文

六月
同　北二万余六百八十四文
同　北三万八千二百八十八文

七月
同　百四十一万千七百八十八文
同　百六十四万七千余八十六文

八月
同　九百八十八万二千八百十六文
同　千八百八十二万九千六百　余二文

九月
同　六千九百十七万七千六百十二文
同　八千余七十万七千二百十四文

十月
同　二百北七俵八千二百九十八文
同　北九俵八千四百六十八百八十六文

十一月
同　北三俵八千九百七十百二千九百八十八文
同　北九俵八千四百六十八百八十六文

十二月
同　二百北七俵八千二百五十七万四千四百　余二文

法ハ絲すゝこ二文七銭十二文ひゝ八分ゝ也　此絲ゝ文ゝのうちゝ也

○鼠二百七十六俵八千二百八十七万四千四百余二文也　絲すゝこ一月に茶す余

ゝの二月の分八　茶千三百八十四万千二百八十七石二斗六合也

又ゝの絲すゝこ尾ゝ九ひ毛くゝして海とうろうて入唐とうるゝゝ海行程つゞ

くゝそゝとゝゝ　七十八万八千六百七十七里十二町八すゝゝ　但一里八丈六町一町八六

十万一万八千八百八十八すゝみて絲すゝこの長四千四百余三文ゝ

○ひゝくゝ一だゝの事

○ひゝにもゝ文ゝとゝひゝくゝ一だゝのゝみゝてゝ此月ゝ日ゝ程ゝ絲ゝ文ゝとゝゝ　八十三万六千八百

八百七十四文九百十二文ゝ絲ゝ日ゝくゝ間後二万二千三百六十九文六百十六文余

三口合八十八万九千二百四十五文八百北二文ゝ　但九千六百十文

○茶一つゝゝとゝゝくゝ一だゝのゝみゝて此月ゝ日ゝ程ゝ絲ゝ文ゝとゝゝ　八万三千六百八十七

万九百十二銭ゝ絲ゝ日ゝとゝゝ　但一斗に付ゝ銭ゝ文ゝ程ゝ入ゝりゝ

ゝとゝ云　斗月八十九石四千七斗八合四夕八才ゝ文ゝ銭ゝ三三三ゝ銭ゝ入ゝとゝゝ

○大豆三つゝゝを見ゝ一だゝのゝみゝて銭ゝ入ゝるゝとゝゝ　但一斗に付ゝ文ゝ銭ゝ入ゝるゝ

みゝて此月ゝのゝ日ゝ程ゝ絲ゝ文ゝとゝゝ

斗月ゝ七十三石七斗四合八勺二才ゝ文ゝ銭ゝ入ゝるゝとゝゝ

○麦ゝ三つゝゝを見ゝ一だゝのゝみゝて銭ゝ入ゝるゝとゝゝ　但一斗に付ゝ銭ゝ百文銭入ゝるゝ

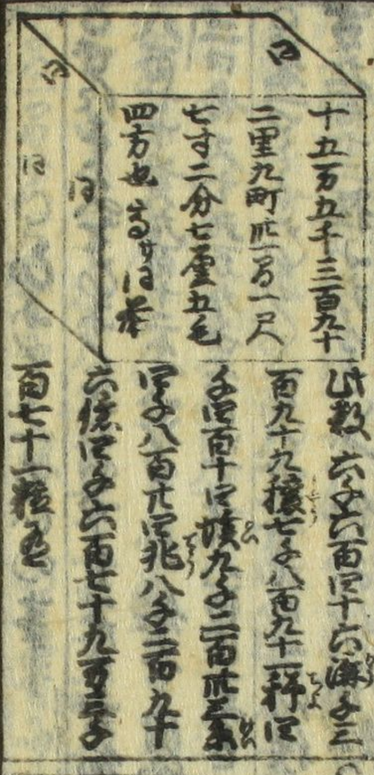
みゝて此月ゝのゝ日ゝ程ゝ絲ゝ文ゝとゝゝ

斗月一石三斗四合一夕七才七れ二三三八銭ゝ入ゝとゝゝ

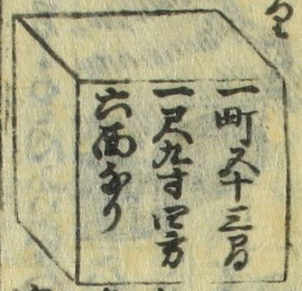
法ゝ一銭を八ゝんゝの文ゝの張ゝ中ゝく刺ゝ入ゝるゝの数ゝ十ゝのゝうゝ文ゝの張ゝ中ゝく

此ゝゝゝ

一分には粒にして一すほうには六万ほど粒入り一升ふくれ一すほうの
粒六十二すある少くは六百ほどと六十二すほどまたは二升ふほど百万粒入るとも
○けい一粒をのべくにしてのべて八十日ゆく
合八百六十二兆九千ほど百九十九億八千三百ほど十二万七千三百十二粒なり
右を并にしてとりて一百ほど十百七千三百七十ほど八千八升三合八勺八才三厘八毛八糸八忽
右の并周囲法あり
三十一万ほど八千九すほど二分八厘八毛八糸八忽方なり但六八千一万
○芥子一粒を四へ一ずつのべくに百九日のうちに粒周囲法にして但なり
一里ゝ六八百六町 一町ゝ六八六千万 一万ゝ六八六百 一百ゝ六八六十 一十ゝ六八六 一分芥子ほど粒なり



○右のわきうち周囲法にして
もんれば



比数 二京八千八百八
十七兆六千七百
八億八千千千

○日本國中男女の數法の事

○男數　合十九億九万四千八百九十八人ほどと云　但億は十万を億と云

○女數　合九億四千八百九十八人ほどと云　「數合四十八億九百九十八万八百四十八人」

右の人數一人が一日に入合こんまいの事にて一日に何程入るとの事

「二万四千四百九十八石二斗四升なり」

又一年のうちに何程とこそ

「八百六十七万二千三百七十六石九斗六升なり」

但三百六十四日分

右の人數四方に四方に何程入るとこそ　「十町六方に四方に四方に四方に四方に」

「十三町」　法が一坪が十二人づつ入るほどにうけ合く四十八億九万九千六百四十八人と十二

人づつ割に六十万六千三百四十四人ほどと云　但三百六十四日分

九千六百六十八万九八六六

九千六百六十六石四斗四升ほどと云

○日に六十六万四千六百石ほどつもりあり七日に米

ときは十万六千六百石ほどつもりあり

「十三町」　法が一坪が十二人づつ入るほどにうけ合く

「十三町」　法が一坪が十二人づつ入るほどにうけ合く

○ひとりさんの事

○ひとりさんの事

○ひとりさんを九百九十九ほどある時九百九十九ひとりさんを九百九十九ほどある時

「九百九十九ひとりさんを九百九十九ほどある時」

法が九百九十九ほどの合が何程とこそ　合九億九千七百合合二万九百九十九ほどと

法が九百九十九ほどの合が何程とこそ　合九億九千七百合合二万九百九十九ほどと

○布一端のあそびのさの長さつもり九寸事

○布一端のあそびのさの長さつもり九寸事

「三里六町三十三万二千八百九十九ほどある」

「三里六町三十三万二千八百九十九ほどある」

法が九百九十九ほどの合が何程とこそ　「三里六町三十三万二千八百九十九ほどある」

法が九百九十九ほどの合が何程とこそ　「三里六町三十三万二千八百九十九ほどある」

○さんぬ　ぬきとり人とさんぬ事

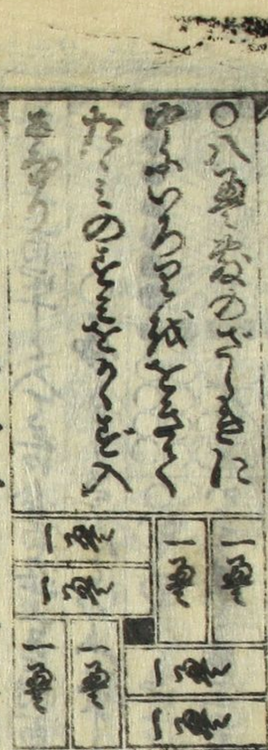
○さんぬ　ぬきとり人とさんぬ事

○ある源人(?)のもとへくるとてとうけとる銭四貫文
八さんぐ〜ゆきこれをたんぐ〜とかぞへてわれハ
わるとつかふもとてのこりをてのこりをてのこりを

十二人くるゝ時は八十六里迄十六のつも入りのみぞ出てとろく十二里九百九あるたいふかり

○発端いろつを入る事

○八重ゝ巻のざゝきに
ゆふいろつを紙をそへて
たゝくのごとくをとり入



○十二重まきちらしの中にいろつを入
事くのごとく
なり

○六里ゝ乃を二人してゝる三文に寄合事

○六里の乃を二人してゝる三文にのり合する時いかんとなれば
のるといへ一人まへ二里宛なれば一里宛のりてなりりくせん
そうにのる也 まつ二人かるに一里宛こまてあるゝ三里
のりてあるゝ二人かるゝに二里宛のりてあるゝ也一人かるゝ也二里宛
ありてこて一里宛めゝりのりとをこと也一里宛のりてあるゝ
人かるゝ三つあるのりとをとも也三里のりてある人にはつきすぐる
事ゝとをとなり法ふまつ乃のまをこゝに里あれかゝる三文を
ゝとりこまゝ三ゝの十八里に成也十八里を人りとに人ゝで

一里宛ゝ成ゆゑ一里宛ゝふ一里宛ゝこんのりろ人ゝ也

○三里ゝ乃を紙三人してゝる三文に寄合ふのり合する時一人まへ二里ゝ也二人まへ二里
宛てゝ人一里ありこゝ二人まへ二里宛ゝ中一里ありこゝ二人まへ二里あるゝそゝ人二里のりあり
事

○三人してゝる法三人てゝ同ふ乃ゝ寄合事

○三人してゝる法三人てゝ同ふ乃ゝ寄合ふのるゝ事

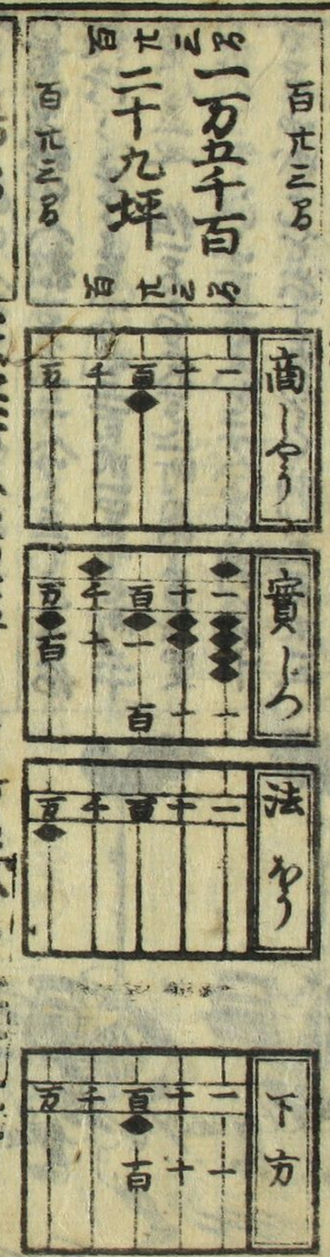
○百万騎の人数をゆゝくべる事

○百万騎の人数一万ふ三人つゝ立てゝ寄合
組ゝ〳〵そゝ寄ふ人数二百四十一里十七町三十
万に当る 但一万ゝ人すゝ一町ゝ六十万ゝ一里
ゝ成ゝ 法ふ百万人を三人ゆゝ割ゝふ人十
万ゝ万ゝ成ゝ六十万ゝゆゝ割ゝ三百四十三
町ゝ万ゝ成ゝ四十六町ゝ成ゝ二百
四十一里十七町ゝ成ゝ也
右の人数を三人をとりあつゝくゝ組ゝ云

百十六里九六所に十ろふあり細なり割やうは左下へ〻ろの法と同じ

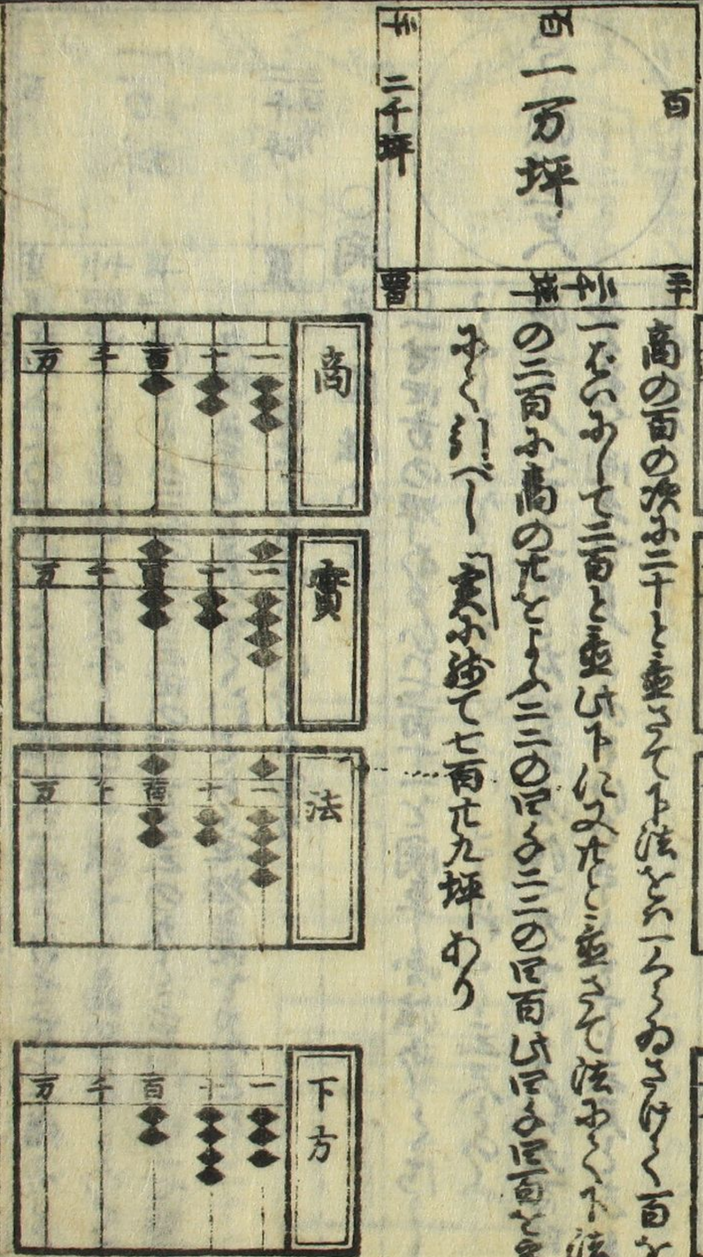
○開平法 商實法ゆく〻除く事

○此二万六千百九坪あり そもそも方にかゝれば何程なるや 百二十三万四方あり

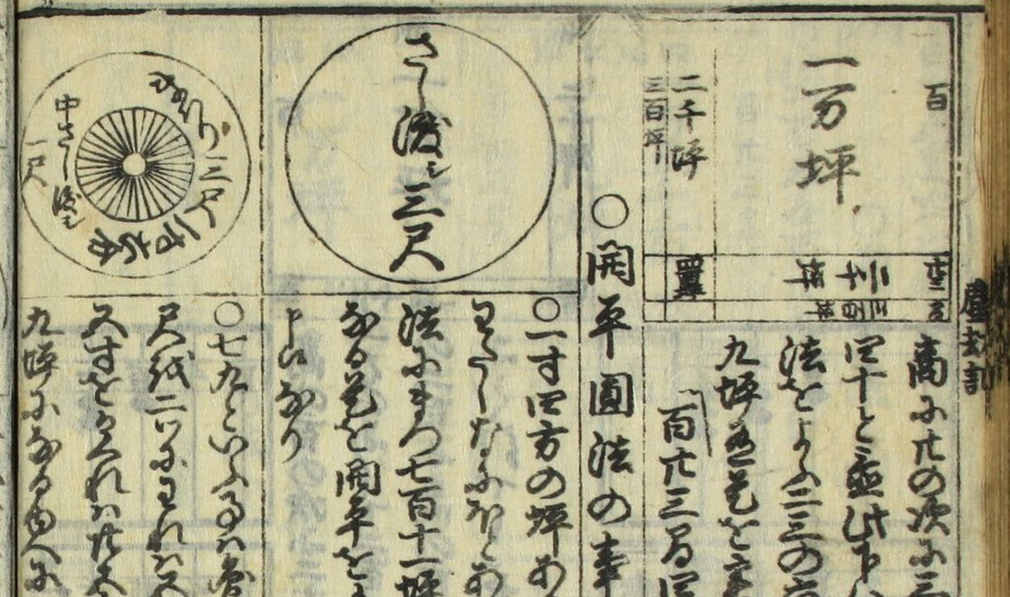


実に二万六千百九坪と垂まゝ係紙なる一十百一十百とゝく〻のごとくにかぞへて わくる時百と二万あるゆえ百の位と定め商ふ百と垂極下法ゆく百一ゝゝ一十百とわゞりて百ゝとなる此三の法すく〻法の百と商の百とゝゝ時一万坪と成実ふ

法して六百九九坪一あ



商の百の次ふ二十と垂さて下法をゝ一ろ〻ゆさけく百を一ゝとゝ一ゝ二百と垂ひ下ひゝ九と垂さて法ゆく下法の二百ふ商の九とゝゝ二三の位ゝ二三の位百ひ位ゝ位百を実すく引べし 実ふ法して七百九九坪一あり



高ふたの次ふ三と亜ける法をかの一倍さけてたと二倍ふ〻く
ほ十と亜けたりに又三と亜さて法ふ〻く高の三をもつてた
法をとりふ三三のの六百三ほの百九三三の九と亜ける法ふ七百九
九坪ふ毛毛と亜ふ〻く引てらふ地坪高をもんをこハ
百九三万ほ方になるなり

○開平圓法の事

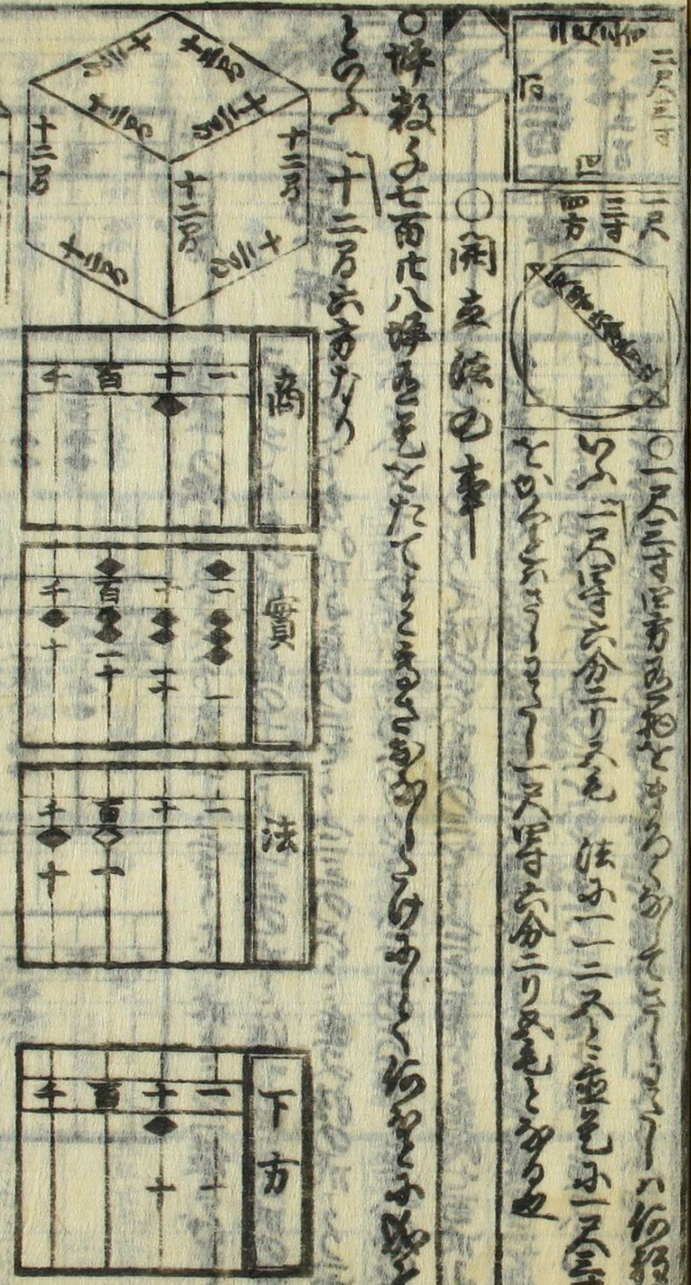
○一すほ方の坪あるしい七百十一を開平ふ法ふ〻くちゝ
ゝゝなふかくあるそこのふに さゝわゝゝ三尺とのふ
法ふまつ七百十一坪と九ふ亜ふ法七九ふ〻くゝれい九百坪と
ふる毛を開平をとりつくのどけでさゝゝゝゝ三尺とこを
よいなり

○七九をこのふの者さゝゝゝゝ一尺あるこの一すの坪七十九あり一
尺紙二つふゝれいふすを毛又一分を二つよりれいふりとなるこれふ
ふすをとりれいたふゝゝあるこれふ三尺を寸六分でのこをこの七十
九坪ふふるゆふ七九をとりけるなり

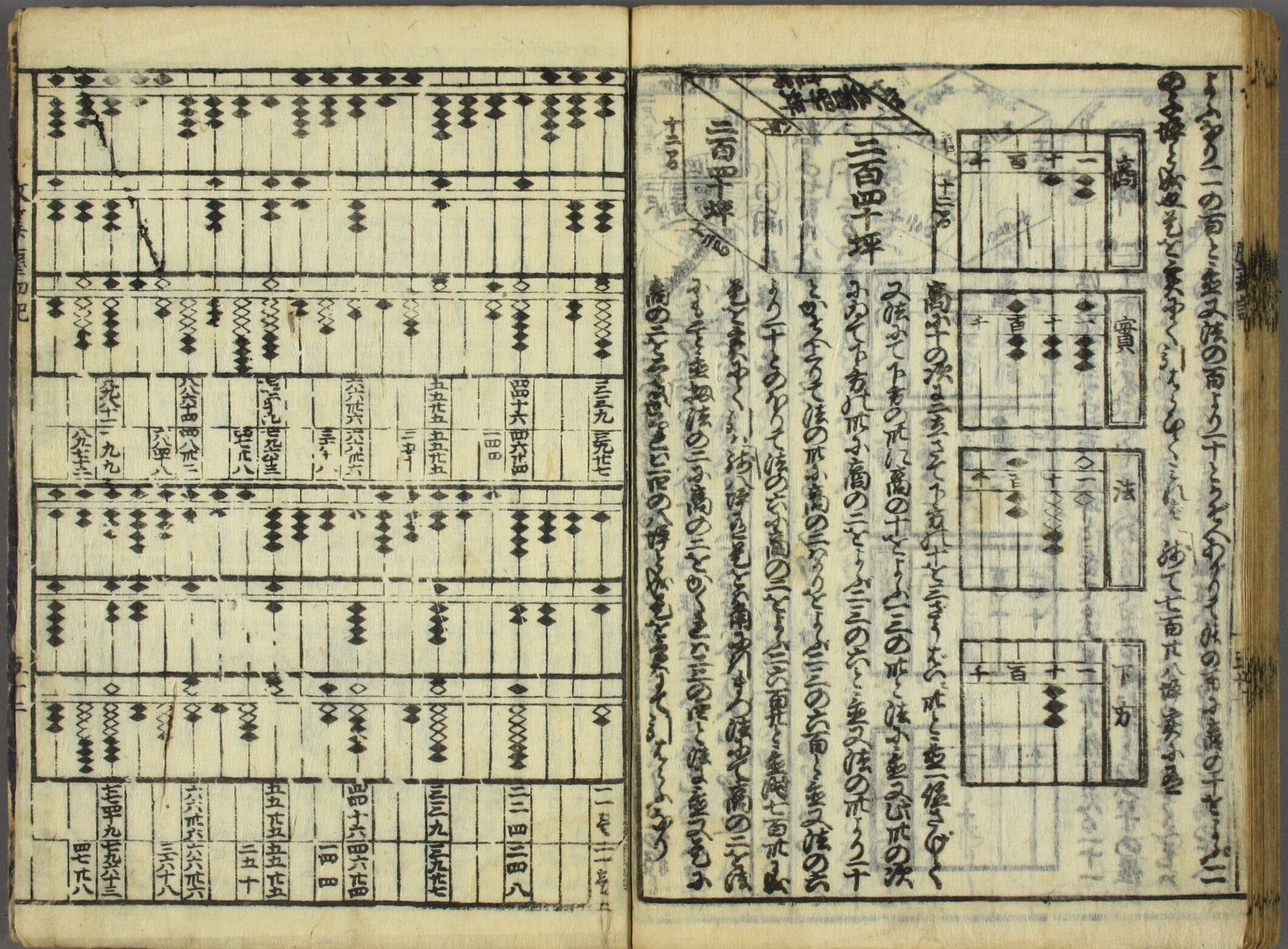
○一尺三寸ほ方ふ毛をかるく分てさゝゝゝゝ八分ふ
ゝふ 一尺ほ寸六分二リふ毛 法ふ一一二ふと亜毛ふ一尺三寸
をかるくさゝゝゝ一尺ほ寸六分二リふ毛とふる也

○開方法の事

○坪数ふ七百九八坪ふ毛をたてゝとるさゝゝゝゝゝ八分数と
ものふ 十二万六方なり



法ふいふ実ふ七百九八坪と亜てまつ実毛ふ法ふ一十一
十一十と法毛ふ〻くゝをふ〻くりそふ名ふ数に十とのふ千の法
ふりまつ高ふ十と亜ふ方ふそ一十とふりそ十とをくゝ毛ハ
高の十に毛をくゝふ〻く亜ふりふ数法ふふそ方の十を高の十へ


高
實
法
下方
二百四十坪
二百四十坪

錢相場小割附

十二匁

十二匁五分	八十文
十二匁六分	七十九文六分
十二匁七分	七十九文二分
十二匁八分	七十九文
十二匁九分	七十八文六分
十二匁	七十八文二分
十二匁一分	七十八文
十二匁二分	七十七文七分
十二匁三分	七十七文四分
十二匁四分	七十七文一分
十二匁五分	七十七文
十二匁六分	七十六文八分
十二匁七分	七十六文五分
十二匁八分	七十六文二分
十二匁九分	七十六文
十三匁	七十五文七分
十三匁一分	七十五文四分
十三匁二分	七十五文一分
十三匁三分	七十五文
十三匁四分	七十四文八分
十三匁五分	七十四文五分
十三匁六分	七十四文二分
十三匁七分	七十四文
十三匁八分	七十三文七分
十三匁九分	七十三文四分

十四匁

十四匁五分	六十八文
十四匁六分	六十八文二分
十四匁七分	六十八文
十四匁八分	六十七文八分
十四匁九分	六十七文五分
十四匁	六十七文二分
十四匁一分	六十七文
十四匁二分	六十六文七分
十四匁三分	六十六文四分
十四匁四分	六十六文一分
十四匁五分	六十六文
十四匁六分	六十五文八分
十四匁七分	六十五文五分
十四匁八分	六十五文二分
十四匁九分	六十五文
十五匁	六十四文七分
十五匁一分	六十四文四分
十五匁二分	六十四文一分
十五匁三分	六十四文
十五匁四分	六十三文八分
十五匁五分	六十三文五分
十五匁六分	六十三文二分
十五匁七分	六十三文
十五匁八分	六十二文七分
十五匁九分	六十二文四分

十六匁

十六匁五分	六十一文九分
十六匁六分	六十一文七分
十六匁七分	六十一文五分
十六匁八分	六十一文三分
十六匁九分	六十一文一分
十七匁	六十一文
十七匁一分	六十文九分
十七匁二分	六十文七分
十七匁三分	六十文五分
十七匁四分	六十文三分
十七匁五分	六十文一分
十七匁六分	六十文
十七匁七分	五十九文八分
十七匁八分	五十九文六分
十七匁九分	五十九文四分
十八匁	五十九文二分
十八匁一分	五十九文
十八匁二分	五十八文八分
十八匁三分	五十八文六分
十八匁四分	五十八文四分
十八匁五分	五十八文二分
十八匁六分	五十八文
十八匁七分	五十七文八分
十八匁八分	五十七文六分
十八匁九分	五十七文四分

十九匁

十九匁	五十七文二分
十九匁一分	五十七文
十九匁二分	五十六文八分
十九匁三分	五十六文六分
十九匁四分	五十六文四分
十九匁五分	五十六文二分
十九匁六分	五十六文
十九匁七分	五十五文八分
十九匁八分	五十五文六分
十九匁九分	五十五文四分
二十匁	五十五文二分
二十匁一分	五十五文
二十匁二分	五十四文八分
二十匁三分	五十四文六分
二十匁四分	五十四文四分
二十匁五分	五十四文二分
二十匁六分	五十四文
二十匁七分	五十三文八分
二十匁八分	五十三文六分
二十匁九分	五十三文四分

十五匁

十五匁五分	六十八文一分
十五匁六分	六十八文
十五匁七分	六十七文八分
十五匁八分	六十七文五分
十五匁九分	六十七文二分
十六匁	六十七文
十六匁一分	六十六文七分
十六匁二分	六十六文四分
十六匁三分	六十六文一分
十六匁四分	六十六文
十六匁五分	六十五文八分
十六匁六分	六十五文五分
十六匁七分	六十五文二分
十六匁八分	六十五文
十六匁九分	六十四文七分
十七匁	六十四文四分
十七匁一分	六十四文一分
十七匁二分	六十四文
十七匁三分	六十三文八分
十七匁四分	六十三文五分
十七匁五分	六十三文二分
十七匁六分	六十三文
十七匁七分	六十二文七分
十七匁八分	六十二文四分
十七匁九分	六十二文一分

十六匁

十六匁五分	六十一文九分
十六匁六分	六十一文七分
十六匁七分	六十一文五分
十六匁八分	六十一文三分
十六匁九分	六十一文一分
十七匁	六十一文
十七匁一分	六十文九分
十七匁二分	六十文七分
十七匁三分	六十文五分
十七匁四分	六十文三分
十七匁五分	六十文一分
十七匁六分	六十文
十七匁七分	五十九文八分
十七匁八分	五十九文六分
十七匁九分	五十九文四分
十八匁	五十九文二分
十八匁一分	五十九文
十八匁二分	五十八文八分
十八匁三分	五十八文六分
十八匁四分	五十八文四分
十八匁五分	五十八文二分
十八匁六分	五十八文
十八匁七分	五十七文八分
十八匁八分	五十七文六分
十八匁九分	五十七文四分
十九匁	五十七文二分
十九匁一分	五十七文
十九匁二分	五十六文八分
十九匁三分	五十六文六分
十九匁四分	五十六文四分
十九匁五分	五十六文二分
十九匁六分	五十六文
十九匁七分	五十五文八分
十九匁八分	五十五文六分
十九匁九分	五十五文四分

十六匁

十六匁五分	五十八文一分
十六匁六分	五十八文
十六匁七分	五十七文八分
十六匁八分	五十七文六分
十六匁九分	五十七文四分
十七匁	五十七文二分
十七匁一分	五十七文
十七匁二分	五十六文八分
十七匁三分	五十六文六分
十七匁四分	五十六文四分
十七匁五分	五十六文二分
十七匁六分	五十六文
十七匁七分	五十五文八分
十七匁八分	五十五文六分
十七匁九分	五十五文四分
十八匁	五十五文二分
十八匁一分	五十五文
十八匁二分	五十四文八分
十八匁三分	五十四文六分
十八匁四分	五十四文四分
十八匁五分	五十四文二分
十八匁六分	五十四文
十八匁七分	五十三文八分
十八匁八分	五十三文六分
十八匁九分	五十三文四分

十九匁

十九匁	五十三文二分
十九匁一分	五十三文
十九匁二分	五十二文八分
十九匁三分	五十二文六分
十九匁四分	五十二文四分
十九匁五分	五十二文二分
十九匁六分	五十二文
十九匁七分	五十一文八分
十九匁八分	五十一文六分
十九匁九分	五十一文四分
二十匁	五十一文二分
二十匁一分	五十一文
二十匁二分	五十文八分
二十匁三分	五十文六分
二十匁四分	五十文四分
二十匁五分	五十文二分
二十匁六分	五十文
二十匁七分	四十九文八分
二十匁八分	四十九文六分
二十匁九分	四十九文四分

十五匁

十五匁五分	六十文一分
十五匁六分	六十文
十五匁七分	五十九文八分
十五匁八分	五十九文五分
十五匁九分	五十九文二分
十六匁	五十九文
十六匁一分	五十八文七分
十六匁二分	五十八文四分
十六匁三分	五十八文一分
十六匁四分	五十八文
十六匁五分	五十七文八分
十六匁六分	五十七文五分
十六匁七分	五十七文二分
十六匁八分	五十七文
十六匁九分	五十六文七分
十七匁	五十六文四分
十七匁一分	五十六文一分
十七匁二分	五十六文
十七匁三分	五十五文八分
十七匁四分	五十五文五分
十七匁五分	五十五文二分
十七匁六分	五十五文
十七匁七分	五十四文七分
十七匁八分	五十四文四分
十七匁九分	五十四文一分

十六匁

十六匁五分	五十八文一分
十六匁六分	五十八文
十六匁七分	五十七文八分
十六匁八分	五十七文五分
十六匁九分	五十七文二分
十七匁	五十七文
十七匁一分	五十六文七分
十七匁二分	五十六文四分
十七匁三分	五十六文一分
十七匁四分	五十六文
十七匁五分	五十五文八分
十七匁六分	五十五文五分
十七匁七分	五十五文二分
十七匁八分	五十五文
十七匁九分	五十四文七分

十六匁

十六匁五分	五十八文一分
十六匁六分	五十八文
十六匁七分	五十七文八分
十六匁八分	五十七文五分
十六匁九分	五十七文二分
十七匁	五十七文
十七匁一分	五十六文七分
十七匁二分	五十六文四分
十七匁三分	五十六文一分
十七匁四分	五十六文
十七匁五分	五十五文八分
十七匁六分	五十五文五分
十七匁七分	五十五文二分
十七匁八分	五十五文
十七匁九分	五十四文七分

十六匁

十六匁五分	五十八文一分
十六匁六分	五十八文
十六匁七分	五十七文八分
十六匁八分	五十七文五分
十六匁九分	五十七文二分
十七匁	五十七文
十七匁一分	五十六文七分
十七匁二分	五十六文四分
十七匁三分	五十六文一分
十七匁四分	五十六文
十七匁五分	五十五文八分
十七匁六分	五十五文五分
十七匁七分	五十五文二分
十七匁八分	五十五文
十七匁九分	五十四文七分

十六匁

十六匁五分	五十八文一分
十六匁六分	五十八文
十六匁七分	五十七文八分
十六匁八分	五十七文五分
十六匁九分	五十七文二分
十七匁	五十七文
十七匁一分	五十六文七分
十七匁二分	五十六文四分
十七匁三分	五十六文一分
十七匁四分	五十六文
十七匁五分	五十五文八分
十七匁六分	五十五文五分
十七匁七分	五十五文二分
十七匁八分	五十五文
十七匁九分	五十四文七分

十六匁

十六匁五分	五十八文一分
十六匁六分	五十八文
十六匁七分	五十七文八分
十六匁八分	五十七文五分
十六匁九分	五十七文二分
十七匁	五十七文
十七匁一分	五十六文七分
十七匁二分	五十六文四分
十七匁三分	五十六文一分
十七匁四分	五十六文
十七匁五分	五十五文八分
十七匁六分	五十五文五分
十七匁七分	五十五文二分
十七匁八分	五十五文
十七匁九分	五十四文七分

十六匁

十六匁五分	五十八文一分
十六匁六分	五十八文
十六匁七分	五十七文八分
十六匁八分	五十七文五分
十六匁九分	五十七文二分
十七匁	五十七文
十七匁一分	五十六文七分
十七匁二分	五十六文四分
十七匁三分	五十六文一分
十七匁四分	五十六文
十七匁五分	五十五文八分
十七匁六分	五十五文五分
十七匁七分	五十五文二分
十七匁八分	五十五文
十七匁九分	五十四文七分

十六匁

十六匁五分	五十八文一分
十六匁六分	五十八文
十六匁七分	五十七文八分
十六匁八分	五十七文五分
十六匁九分	五十七文二分
十七匁	五十七文
十七匁一分	五十六文七分
十七匁二分	五十六文四分
十七匁三分	五十六文一分
十七匁四分	五十六文
十七匁五分	五十五文八分
十七匁六分	五十五文五分
十七匁七分	五十五文二分
十七匁八分	五十五文
十七匁九分	五十四文七分

書畫

洛西 下河邊拾水

安永二癸巳年正月吉日

書林

手寺町通松原上ル

菊屋七良兵衛板